
平成 25 年度
佐渡市教育委員会

佐渡学センター年報

第 5 号

この年報の著作権は佐渡市教育委員会に帰属します。ただし、画像などは、所有者や執筆者に著作権があるものがあります。著作権法上の「私的利用」や「引用」の範囲を超えて使用する場合には、佐渡学センターまでお問い合わせください。ただし、掲載資料の使用に際して発生した障害には、佐渡市教育委員会は一切の責任を負いません。

「佐渡学」考

佐渡学センター所長 渡 邊 剛 忠

平成25年度初め、本間次長、野口係長が転出し、藤井次長が着任しました。新しいスタッフの皆さんと、年度の業務分担や年間計画について、主に次のような内容を確認しました。

- ① 人員削減にともなう業務分担について
- ② 世界に向けて発信する3事業につながる佐渡学の調査・研究と資料収集、情報の提供と各関係課との連携
- ③ 市立博物館・資料館などの整備・統合に係るこれまでの資料整備や企画展の遂行
- ④ 佐渡市の小・中・高等学校の佐渡学履修への支援や生涯学習に取り組む関係機関との連携
- ⑤ 大学等研究機関との連携事業の遂行

④に関して、市内の小・中・高等学校で取り組んでいる「佐渡学」の履修について紹介します。

平成16年に佐渡市が1市となって、2年後の平成18年、佐渡市立小中学校の学校基本構想が策定されました。構想の3つの大きな柱の1つに「郷土を愛し、夢と誇りをもつ教育の充実」が盛り込まれました。以後7年間、各学校の総合的な学習時間や部活動などにおいて、「佐渡学」が教育課程に位置づけられた取り組みがなされてきています。昨年度の取り組みについて、学校教育課から伺うことができました。

すべての小中学校が地域の特色を生かし、大地や自然、金・銀山、トキ、生きもの調査、環境問題、歴史、文化、芸能、芸術、農・漁業、食・・・など様々な分野にわたってすばらしい実践が着実になされています。

芸能分野の成果は、佐渡市教育委員会と新潟県高等学校文化連盟の共催で「佐渡に学ぶ小・中・高郷土芸能発表会」として開催され、多くの市民の皆さんが会場のアミューズメントに集いました。

「佐渡学」の授業研究会が行われた加茂小学校の場合、全校で取り組む『夕づる集会』をはじめ、3年生はトキ、佐渡の民話、佐渡の祭りを、4年生は加茂湖の自然や牡蠣の養殖を、5年生は裂き織り、無名異焼き、環境保全を、そして6年生は佐渡の文化遺産、世界遺産などの学習が展開されました。また、同校では1月に授業研究会が開催され、5年生の「はばたきタイム」（総合的な学習時間）で、前年発見された「サドガエル」の学習を通し、困難な課題を解決できる人材の育成を目指して展開された授業が公開されました。

財団法人の法律改正により（財）佐渡博物館が市立の施設として移管されました。佐渡の豊で多様な大地と自然、日本の縮図といわれる歴史と文化を子供たちや市民の多くの皆さんはじめ、佐渡を訪れる皆さんが佐渡を学び、知ることのできる楽しい博物館づくりに努めていきたいと思います。

目次 Contents

刊行にあたって

I 佐渡学センター設置までの経緯	… 1
II 管理運営の状況	
1 組織	… 3
2 施設の状況等	… 4
3 平成 25 年度入館者の状況	… 10
III 事業内容	
1 文化・学芸事業内容	… 11
1.1 常設展示	
1.2 企画展示	
1.3 収集保管事業	
1.4 調査研究事業	
1.5 支援、助成事業	
1.6 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定事業	
1.7 新潟大学図書館との連携業務	
1.8 刊行物	
1.9 イベント	
1.10 その他（キャンペーン協賛）	
2 交流普及事業概要	… 17
2.1 視察・団体受入れ状況	
2.2 出前授業・講演等	
3 職場体験	… 18
4 学芸員実習受入れ	… 18
5 佐渡博物館引き継ぎ業務	… 19
IV 関係団体	
1 佐渡市博物館協議会	… 20
V 日誌抄	… 21
VI 所員による業務上の調査・研究報告	… 27

I 佐渡学センター設置までの経緯

1 沿革

【平成 16 年度】

佐渡伝統文化研究所を設立することを佐渡市長が表明する。

【平成 17 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会生涯学習課に設置した。

準備室室長 木下 勉
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 継仁
主 事 山口 忠明
主 事 渡邊 智美

佐渡市長の平成 17 年度『施政方針』で、「研究所の基本理念」として、「佐渡の歴史と文化を再認識し、有形無形の歴史・文化資産を保護継承し、子々孫々まで残していくことは現代に生きる私たちの責務であると考えます。そのため、島内の研究者や伝統技術・技能の伝承者を集め、貴重な資料の散逸を防ぎ、専門の研究機関を設置することで、各地に残る貴重な資産・資料把握、保存整理研究が行える『佐渡伝統文化研究所』（仮称）の設立を行い伝統文化の継承に努めます。」と表明する。

【平成 18 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会文化振興課内に設置した。

準備室室長 菊池 克己
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 継仁
主 事 鹿取 渉

【平成 19 年度】

佐渡伝統文化研究所を佐渡市教育委員会世界遺産・文化振興課内に設置した。設置場所は、梅津の佐渡市中央公民館から両津湊の佐渡市役

所両津支所 3 階に移動する。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 高藤一郎平
情報指導員 池田 雄彦
係 長 北見 継仁
主 事 滝川 邦彦

設立趣旨を、「佐渡は、古くから島外の文化を受け入れながら島独自の文化を形成し、貴重な民俗芸能や伝統的な行事なども継承されている。また、多様な地形や植生・地質など、自然環境にも恵まれている。このような文化遺産や自然環境は島内外の人々にとって大きな魅力となっているが、十分な調査や保存が行われているとは言えない状況にあった。

このような貴重な文化遺産の価値を島民に十分理解してもらい、その調査と保存・活用を図るべく、佐渡伝統文化研究所準備室を設置してその任に当たって来た。本年度から本格的に活動を目指して正式な『佐渡伝統文化研究所』を設立した。今後は、貴重な資料の散逸を防ぎ、データを集積して広く情報を発信しながら島民の皆さんは勿論、佐渡を訪れる多くの方々に利用して頂けるように務めたいと考えている。」として掲げ、活動を開始した。

【平成 20 年度】

重点施策として、「佐渡伝統文化研究所の体制づくりの推進及び佐渡の歴史・文化・自然に関する調査・研究とデータベース化、デジタルアーカイブ化の構築」とした。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 北見 継仁
情報指導員 池田 雄彦
主 事 滝川 邦彦
研究員補助 八木千恵子

【平成 21 年度】

研究所の機能を拡充強化することによって、地域学の拠点化を図るために、本年度から「佐渡伝統文化研究所」の名称を「佐渡学センター」に改称し、組織体制として新たに文化・学芸係を置き、佐渡島内の博物館・資料館管理運営及び学芸業務も統合した。また事務所も両津郷土博物館内に設置した。

【重点施策】

- 伝統芸能を始め、歴史・文化遺産の保存、継承、活用は、重要な課題であり、平成 21 年度は市民と協力して、基本方針となる文化振興ビジョン策定に取り組む。
- 伝統と魅力ある地域文化の保存・継承を目的として、佐渡の歴史・文化・自然等に関する研究や情報発信、資料のデータベース化を行う。
- 地形や地質など自然遺産が豊富な島である「佐渡」を、国内はもとより広く世界に紹介できるように、大学等の関係機関との連携を図りながら、ジオパークとして世界認定を受けるための準備を進める。

所 長	石瀬 佳弘
次 長	北見 継仁
情報指導員	池田 雄彦
文化・学芸係長	野口 敏樹
主 事	山口 忠明
主 事	宇治 美徳
主 事	須藤 洋行
主 事	滝川 邦彦

【平成 22 年度】**【重点施策】**

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- ジオパーク認定を目指した取り組みを進める。
- 新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所 長	渡邊 剛忠
次 長	北見 継仁
情報指導員	池田 雄彦
文化・学芸係長	野口 敏樹
主 事	山口 忠明
主 事	須藤 洋行
主 事	滝川 邦彦

【平成 23 年度】**【重点施策】**

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。
- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- 新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所 長	渡邊 剛忠
次 長	本間 俊一郎
情報指導員	池田 雄彦
文化学芸係長	野口 敏樹
主 任	滝川 邦彦
主 任	須藤 洋行
主 事	山口 忠明
雇 員	本間 裕亨（研究員補助員）

【平成 24 年度】**【重点施策】**

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。
- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。

○新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所	長	渡邊	剛忠
次	長	本間	俊一郎
学芸専門員		北見	継仁
情報指導員		池田	雄彦
文化学芸係長		野口	敏樹
主	任	滝川	邦彦
主	任	須藤	洋行
主	事	山口	忠明
雇	員	本間	裕亨（研究員補助員）

II 管理運営の状況

【平成 25 年度 佐渡学センター運営方針】

- ◎各施設における収蔵品の保存活用や指定文化財等の保管管理の徹底と収蔵品資料のデータベース化を集中的に推進する。
- ◎行政改革における施設の統廃合を推し進め、博物館・資料館の今後の管理運営体制のみ直しをし、一段と効率的な運営を図る。
- 佐渡の歴史・文化・自然に関する調査・研究及び情報収集を行なうと伴に、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム・セミナー等の開催による情報発信を各関係機関と協働しながら行なう。

【博物館・資料館（文化学芸係）運営方針】

- ◎佐渡の歴史・文化・自然に関するレファレンス業務の推進と博物館・資料館収蔵品のデータベース化を進める
- 特別展、企画展の開催と講座・教室・講習会の拡充を図る。
- 調査研究事業
 - ・佐渡島内に所在する有形・無形の文化財の調査・研究を行い、その成果を発信する。
- 伝統文化等保存支援事業（補助事業）
 - 佐渡島内に伝承されている伝統芸能等の後継者・保持団体等の活動に対し補助事業を実施し、伝統文化の保存・継承・活用を図る。
- 博物館管理運営事業
- 歴史民俗資料館管理運営事業
 - 各博物館・資料館の特徴を生かしながら互いに連携し、佐渡の歴史・文化・自然を広く市民・研究者・観光客に紹介し、情報発信を行なう。
- 佐渡に関する歴史・文化・自然のレファレンス業務
- 新潟大学人文学部等の各関係機関との連携事業

1 組 織

所 長	渡邊 剛忠
次 長	藤井 甚栄
学芸専門員	北見 継仁
情報指導員	池田 雄彦
主 任	滝川 邦彦
主 任	須藤 洋行
主 事	山口 忠明
雇 員	本間 裕亨（研究員補助員）
雇 員	中村 政春
雇 員	宇田美智子（相川郷土博物館）
雇 員	本間 裕徳 （相川郷土博物館金泉収蔵庫）
雇 員	佐々木妙子（佐渡国小木民俗博物館）
雇 員	渡辺 啓子（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	河村 厚子（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	齋藤 鈴香（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	岩崎千代美（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	長浜 佑子（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	佐々木さゆり（相川技能伝承展示館）
雇 員	山本加奈子（相川技能伝承展示館）
雇 員	山本 悦子（相川技能伝承展示館）
雇 員	小杉 栄枝（相川技能伝承展示館）
雇 員	寺尾フジ子（相川技能伝承展示館）

2 施設の状況等

2.1 両津郷土博物館

事業名 社会教育施設等整備費補助金

建設年度 昭和56年度



2.1.1 施設概要

場 所 佐渡市秋津1596

敷地面積 49,590㎡

建築面積 1,373.59㎡

構造・階数 鉄筋コンクリート造2階建、地下1階

駐車場 約50台

2.1.2 総事業費

515,912千円

2.2 相川郷土博物館

事業名 相川小学校80周年記念事業

開館年度 昭和31年度



2.2.1 施設概要

場 所 佐渡市相川坂下町20

敷地面積 (総面積) 3,150㎡

建築面積 (総面積) 1,055.16㎡

構造・階数 木造平屋建(一部2階建)

御料局佐渡支庁跡(2階建) 172.24㎡

展示室(1階) 244.89㎡

特別展示室・準備室 84.60㎡

事務室ほかその他 117.19㎡

有田八郎記念館 116.76㎡

収蔵庫 198.00㎡

名誉町民資料館 55.48㎡

駐車場 伝承館と共用 約20台

2.2.2 総事業費

不明

備考 明治22年建築。相川小学校80周年記念事業として収集した歴史・鉱山・民俗資料を、鉱山縮小によって空いた鉱山事務所を利用して郷土博物館として昭和31年7月に開館した。

2.3 相川文書館

建設年度 昭和51年度(移築)



2.3.1 施設概要

場 所 佐渡市相川坂下町20
(相川郷土博物館敷地内)

建築面積 66㎡

構造・階数 木造平屋建

駐車場 伝承館と共用 約20台

2.3.2 総事業費

移築費 4,000千円

備考 大正2年に「相川銀行」の行舎として、羽田町に建てられた。その後第四銀行合併を経て、相川町に寄附され、昭和51年に相川文書館として現在の場所に移築された。

2.4 相川技能伝承展示館

事業名 地域バイタリティ育成事業全体計画

建設年度 昭和60～61年度



2.4.1 施設概要

場 所 佐渡市相川北沢町2番地

敷地面積 2,271㎡

建築面積 712.17㎡

構造・階数 鉄筋平屋建（一部2階建）

陶芸実習室 109.31㎡

裂織り実習室 93.57㎡

資料展示室 109.31㎡

窯小屋・登り窯 49.68㎡

工房 102.69㎡

ホール 137.75㎡

事務室ほかその他 109.86㎡

駐車場 伝承館と共用 約20台

2.4.2 総事業費

81,532千円

2.5 史跡佐渡奉行所跡

事業名 佐渡金山遺跡佐渡奉行所保存整備事業

建設年度 平成7～18年度



2.5.1 施設概要

場 所 佐渡市相川広間町1番地1

敷地面積 18,542㎡

建築面積 1,541.6㎡

構造・階数 木造平屋建

御物見 34.7㎡

御役所 990.0㎡

御門番所 32.0㎡

御普請方役所 140.4㎡

勝場 344.5㎡

駐車場 約20台

2.5.2 総事業費

2,387,984千円

2.6 佐渡国小木民俗博物館

2.6.1 佐渡国小木民俗博物館（旧館）



2.6.1.1 施設概要

場 所 佐渡市宿根木270-2

敷地面積 （総面積）11,192㎡

（旧館）9868.96㎡

建築面積

延床面積 2,930㎡

構造・階数 木造平屋建て

駐車場 10台

2.6.1.2 総事業費

19万円

備 考 大正9年に建てられた木造校舎をそのまま
利用し、昭和47年6月に開館した博物館。

2.6.2 佐渡国小木民俗博物館（新館）

事業名 農村地域農業構造改善事業
（自然活用型）
建設年度 昭和56～59年度



2.6.2.1 施設概要

場 所 佐渡市宿根木
敷地面積
建築面積 627.52㎡
延床面積
構造・階数 鉄筋コンクリート平屋建て
駐車場 旧館と共用 10台

2.6.2.2 総事業費

87,194千円

2.7 千石船展示館

事業名 山村振興等農林漁業特別対策事業
建設年度 平成8～9年度



2.7.1 施設概要

場 所 佐渡市宿根木
敷地面積
建築面積 695.52㎡
延床面積
構造・階数 木造平屋建て

駐車場

2.7.2 総事業費

135,366千円

2.8 海運資料館

（南佐渡離島開発総合センター内2F）

事業名 離島開発総合センター建設事業
建設年度 昭和54～55年度

2.8.1 施設概要

場 所 佐渡市小木町1941-1
敷地面積 1428㎡
建築面積 1616.13㎡
延床面積 500㎡
構造・階数 鉄筋コンクリート3階建て



（一部中4階）

駐車場 10台

2.8.2 総事業費

236,199千円

備考 平成22年度から佐渡考古資料館の資料も加えリニューアルオープンした。

2.9 幸丸展示館

事業名 日本宝くじ協会助成事業、町づくり特別対策事業

建設年度 昭和59年度

2.9.1 施設概要

場 所 佐渡市小木町1941-1
敷地面積 1837㎡
建築面積 303.65㎡
延床面積 206㎡



構造・階数 鉄骨造り 1 棟
駐車場

2.9.2 総事業費
52,000 千円

2.10 佐渡植物園

建設年度 昭和 23 年度



2.10.1 施設概要

場 所 佐渡市羽茂飯岡 550-6
敷地面積 59,671 m² (施設概要より)
※ (総面積) 65,040 m²

建築面積

(管理棟) 35 m²
(作業棟) 19.87 m²
(温 室) 58.32 m²

延床面積 55 m²

構造・階数 鉄骨造り 1 棟

駐車場

2.10.2 総事業費
不 明

2.11 新穂歴史民俗資料館

建設年度 昭和 62 年度



2.11.1 施設概要

場 所 佐渡市新穂瓜生屋 492
敷地面積 2,348 m²
建築面積 922 m²
構造・階数 鉄筋コンクリート造 2 階建
駐車場

2.11.2 総事業費

250,094 千円

2.12 金井歴史民俗資料収蔵庫

事業名 国宝重要文化財等保存施設整備費補助金
(国)、文化保存事業費補助金 (県)

建設年度 昭和 50 年度

2.12.1 施設概要

場 所 佐渡市泉甲 375-1
敷地面積 約 2,000 m²
建築面積 収蔵庫 144 m²
展示館 136 m²
構造・階数 鉄筋コンクリート造平屋建
駐車場



2.12.2 総事業費

15,010 千円

2.13 明治記念堂（開導館）

建設年度 明治 35 年度



2.13.1 施設概要

場 所 佐渡市千種丙 1 5 4

敷地面積 1,055.2㎡

建築面積 72.24㎡

構造・階数 木造平屋建

2.13.2 総事業費

明治記念堂 不明

開導館 4,100 千円（昭和 50 年復原）

3 平成 25 年度入館者の状況

	両津郷土博物館	相川郷土博物館	相川技能伝承展示館	史跡佐渡奉行所跡	佐渡国小木民俗博物館	海運資料館	新穂歴史民俗資料館	金井歴史民俗資料収蔵庫	赤泊郷土資料館	(佐渡植物園)	総計
4月	85	216	197	1,101	711	61	155	0	27	(350)	2,553
5月	246	743	636	2,305	1,819	183	141	0	41	(320)	6,114
6月	197	2,772	2,641	4,416	2,681	211	222	0	37	(510)	13,177
7月	304	1,069	1,188	2,909	3,163	155	185	0	41	(430)	9,014
8月	633	364	423	2,763	3,775	293	244	0	79	(380)	8,574
9月	443	430	618	1,763	1,656	73	336	0	25	(440)	5,344
10月	158	210	133	1,583	1,779	47	1,027	0	36	(200)	4,973
11月	84	109	82	1,026	493	33	231	0	6	(200)	2,064
12月	9	9	54	64	92	5	0	0	2	(50)	235
1月	2	5	61	32	35	4	0	0	6	(100)	145
2月	12	30	85	61	60	15	0	0	1	(50)	264
3月	39	98	89	545	360	77	152	0	7	(200)	1,367
入館者 年度計	2,212	6,055	6,207	18,568	16,624	1,157	2,693	0	308	(3,230)	53,824

※総計には、佐渡植物園入場者を含まず。

平成 16年度	2,772	4,497	7,844	26,317	20,523	1,477	2,801	263	594		67,088
平成 17年度	3,021	4,354	7,535	25,690	19,902	1,309	2,308	315	812		65,246
平成 18年度	3,086	3,599	6,800	29,195	18,247	1,363	2,607	153	493		65,543
平成 19年度	2,681	2,755	6,239	22,880	17,334	1,413	2,944	176	414		56,836
平成 20年度	3,162	4,925	6,279	20,648	15,038	1,460	3,445	123	282		55,362
平成 21年度	1,838	5,883	5,609	22,105	19,136	1,237	2,859	0	313	(4,360)	58,980
平成 22年度	2,482	6,134	5,890	20,224	18,338	1,241	2,314	74	189	(3,650)	56,886
平成 23年度	2,406	6,893	6,793	19,077	16,957	1,513	2,942	0	168	(2,830)	56,749
平成 24年度	3,634	6,402	6,944	18,407	17,219	1,472	2,946	0	254	(2,860)	57,278
平成 25年度	2,212	6,055	6,207	18,568	16,624	1,157	2,693	0	308	(3,230)	53,824

※総計には、佐渡植物園入場者を含まず。平成 20・21 年度は海運資料館に考古資料館入館者数を含む
 ※ 21 年度以降は、入館者に無料入館者数を含む

Ⅲ 事業内容

1 文化・学芸事業内容

1.1 常設展示

1.1.1 両津郷土博物館

1.1.1.1 事業趣旨

昭和53年に制定された「加茂湖総合開発計画」により、湖に半島となって突き出た樹崎一帯が「レクリエーション保存地区」として位置づけられた。そのなかで、市民の憩いの場、また、生涯教育の一拠点として、昭和57年に開館した博物館。メインテーマは「島のくらしと文化」としており、漁撈用具などの民俗資料を中心に3万点以上の資料が収蔵されている。

1.1.1.2 展示構成

常設展示は、それぞれ「海」、「くらしと木」、「祭」をテーマとした、第1～第3展示室で構成されている。民俗資料を中心に歴史資料がそれを補完する形での展示を行っている。

また、エントランスでの新収蔵資料の展示や特別展示室を利用した企画展示を随時行っている。

1.1.1.3 常設展示の保守点検・補修

生涯学習施設、また市民の憩いの場として、館内外及び周辺的美観を維持管理するため、保守点検・補修を行っている。

1.1.1.4 資料展示替え

特になし。

1.1.1.5 企画展示

「本間 孝の視座 一佐渡の原風景写真展」を平成25年8月1日（木）～平成25年9月30日（月）に開催した。

寄贈を受けたネガ類・写真類の中から新潟日報に掲載した作品を中心に全紙サイズにプリントして展示した。作品以外にも、本間 孝氏の生前の活動や業績を偲ぶかめら等の資料も展示した。

1.1.2 相川郷土博物館

1.1.2.1 事業趣旨

御料局佐渡支庁跡に三菱佐渡鉱山の所長室及び本部事務室として建築され、鉱山の大幅縮小に伴い鉱山資料と共に三菱より相川町へ譲渡され、昭和31年に開館した博物館。資料展示は主に鉱山資料を中心に約800点を展示している。鉱山以外の資料として、「佐渡海府の紡織用具と製品」（国指定重要有形民俗文化財）がある。

1.1.2.2 展示構成

相川地区は金鉱山と共に生きてきた地域であり、鉱山に関係した資料を展示し、そのほか考古資料や遊女関連資料、終戦時に外務大臣を務めた有田八郎氏の資料を展示したコーナーがある。

体験コーナーとして水上輪^{すいしょうりん}を設置し、実際に回して鉱山労働の厳しさと、当時の技術を体感できる。

1.1.2.3 順路案内

建物本体が博物館として建築されたものでないため、スムーズに展示物の見学ができるようになっていない。そのため巡回するようにすることができないため、案内看板を設置し、受付でも説明するようにしている。

1.1.2.4 常設展示の保守

敷地内や建物の一部が国指定史跡となっていることから、史跡保存のため周辺的美観等の維持を中心に行っている。また、建物が古いため、建物の補修や来館者の安全に対して保守点検を随時実施し、平成25年度は周辺の草刈りと軽微な建物補修、消防用設備等総合点検を実施した。

1.1.2.5 展示資料替

佐渡博物館で開催している佐渡金銀山展に展示物・収蔵物を出展しているため、代替え品として鉱山機械の木型等を展示している。

1.1.2.6 企画展示

相川出身で江戸時代の絵師「石井夏海・石井文海親子」の資料を特別展示室で公開している。

公開にあわせて資料を再調査・デジタル化し、複製を中心に展示している。

1.1.3 相川文書館

1.1.3.1 事業趣旨

昭和45年から始まった町史編纂事業であるが、博物館が非常に手狭なため、昭和48年に旧第四銀行相川支店（大正2年建築）を改築する際に旧相川町へ建物を譲渡してもらい、昭和50年に完全移築し、町史編纂の作業とその資料の公開を目的として開館した。

1.1.3.2 展示構成

基本的に展示物はなく、町史編纂時の貴重資料が保管管理されている。

1.1.3.3 常設展示の保守

相川郷土博物館と一体のものとして、保守管理に含めている。

1.1.3.4 展示資料替

収蔵されている貴重資料の台帳を現在作成している。

1.1.4 相川技能伝承展示館

1.1.4.1 事業趣旨

地域バイタリティー育成事業を活用して、地域の歴史や伝統技術の学習機会を拡大するため、一般・児童・生徒・学生を対象とした陶芸実習や裂き織り体験の受入を主目的に昭和61年に開館した。

1.1.4.2 展示構成

展示室では島内の窯元・裂き織り愛好者の作品を集めて展示している。また、体験学習のメニューにはないが、文弥人形も展示している。裂き織りについては裂き織り実習室が自由に出入りでき、見学できるようになっている。

1.1.4.3 常設展示の保守

体験設備として作業する建物であることから、機器の整備や安全管理を常に行い、特に窯での陶芸作品焼成等があるため火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。

1.1.4.4 展示資料替

展示している陶芸作品は寄託品で、窯元から変更の依頼があった場合に作品を変更している。

また、裂き折り作品販売コーナーに隣接して、商品サンプル的な陶芸作品を展示するスペースを設けて、出品している。

1.1.5 史跡佐渡奉行所跡

1.1.5.1 事業趣旨

平成6年度に佐渡金山遺跡（佐渡奉行所跡）が国の史跡として指定されたことを受け、平成13年度に「御役所」建物を江戸期の技術で復元公開し、平成16年度には金銀山のガイダンス施設となる「勝場」の公開を開始した。

1.1.5.2 展示構成

基本的に当時の技術で復元した建物を来館者に体感してもらう形であり、御役所内を説明員が案内している。ガイダンス施設である勝場では発掘調査で出土した遺物や、絵巻物などの資料を展示し、当時の選鉱作業の設備を復元し、実際に鉱山白を回す体験を行っている。施設の活用を図るため、地域イベントである「佐渡国相川ひなまつり・お茶会」「宵の舞」「鉱山祭り」の会場として開放している。

1.1.5.3 順路案内

建物本体が当時の復元として建築されたため、建物内に矢印などの巡回案内を設置し、説明員がつくようにしている。

1.1.5.4 常設展示の保守

当時の建物を復元したため、建物内での火気は厳禁であり、照明も最低限度の設置としている。機器の整備や安全管理を常に行い、特に火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。

1.1.6 佐渡国小木民俗博物館

1.1.6.1 事業趣旨

大正9年に建てられた木造校舎をそのまま利用して、昭和47年6月に開館した博物館。館内には主に民俗資料を展示。その数30,000点余り。うち「南佐渡

の漁撈用具 1、293 点」「船大工道具 1、034 点」は国の重要有形民俗文化財に指定されている。千石船展示館には、安政 5 年（1858 年）に宿根木で建造された「幸栄丸」を当時の板図（設計図）をもとにし実物大で復元した「白山丸」が展示されている。

1.1.6.2 展示構成

旧館には、「衣」「信仰」「陶器」をテーマにした展示室のほか、昔の生活道具を展示している大型展示室がある。新館には南佐渡の漁撈具や農具などを展示。そして、千石船展示館には、全長 23.75 m の白山丸を展示しており船内の見学もできる。

1.1.6.3 順路案内

旧館と展示館は通路がつながっているが新館が離れている。そのため新館を観覧せずに退館してしまう入館者も見られたので、観覧順路図を作成し受付にて配布した。また、外国から訪れた入館者も多いため、裏面には英語表記で順路を示した。

1.1.6.4 常設展示の保守点検・補修

市民の文化的・学術的活動の支援につなげるため館内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に常設展示室の保守点検・軽微補修、照明機器の補修・補充等を行っている。

24 年度は、4～9 月までに博物館周辺の草刈りを 6 回、樹木の剪定を 12 月にそれぞれ行った。消防用設備等総合点検は 2 回行い、照明器具については定期的に館員が点検し迅速な処理を行っている。

1.1.6.5 資料展示替

特になし

1.1.7 海運資料館

1.1.7.1 事業趣旨

この資料館では、郷土共通の課題「海運」と、住民のくらしとの係わり合いを資料展示している。

また、発掘調査によって明らかとなった長者ヶ平遺跡を中心に考古資料を展示している。かつて海を介して運ばれた縄文土器や黒曜石などの資料をとおして海上交易が盛んであった古代の海運を紹介している。

1.1.7.2 展示構成

文化、芸能と人との係り、小木港が大きな役割を果たした金銀輸送のみち、船絵馬、旧小木町が日本一の生産地であった船ダンス、和船に使用された用具、西回り航路による流れ、近世の汽船時代コーナー等をわかりやすく展示。

また、国指定史跡である長者ヶ平遺跡の出土遺物を中心に展示している。

1.1.7.3 資料展示替

特になし

1.1.8 幸丸展示館

1.1.8.1 事業趣旨

近世までの日本海は、表日本であった。経済発展を支えた海上交通は、小木港から対岸である越後へも往來を繰り返した。小木一寺泊間を結んだ現存する佐渡海峡最後の木造和船である「幸丸」を港湾区域内に展示することにより、かつての小木港の歴史を偲ぶと共に小木一寺泊との歴史や人と物との交流の足跡を物語るシンボルとして保存している。

1.1.8.2 展示構成

18 m × 24 m の吹き抜けの展示館内には、船主であった長谷川正作氏の計画により、航海中にいかなる船も優先した「右舷開き」と呼ばれる帆形を再現して展示を行っている。また、展示館前庭には、案内看板の解説や天然記念物および名勝「佐渡小木海岸」の岩石（沈状溶岩、柱状節理）、かつて湾内に使用されていた尾道産の御影石などを配し、無料入館できる市民に身近な文化施設として利用されている。

※現在は、傷みのため帆を下ろしている。

1.1.8.3 資料展示替

特になし

1.1.9 佐渡植物園

1.1.9.1 事業趣旨

佐渡島の植物分布の特異性、多様性の縮図として、佐渡島内に自生している植物を収集、植栽、展示して

研究の資料として提供する。

青少年の生涯学習の場としての植物園を提供する。

文化的、学術的資料を提供し、植物に親しむ場を提供する。

1.1.9.2 展示構成

北緯 38 度線上に位置する佐渡島は、潮流の影響によって寒暖の差が少なく自生種が極めて多い。日本列島の縮図的な植物分布となっている。13 のゾーンに区分けた園内には、自生種の代表的な植物を植栽展示しており自然散策道や遊歩道を歩くと四季を通じて趣が感じられる。

昭和 47 年佐渡植物園 20 周年記念として、明治神宮から分けて頂いた花菖蒲は 6 月下旬～7 月上旬が見頃である。

1.1.9.3 山野草展

来園者に四季を感じて頂くため、羽茂公民館を会場に春の山野草展（5 月）、ウチョウラン展（7 月）、大文字草展（10 月）、雪割草展（3 月）の 4 回の山野草展を開催している。

1.1.9.4 園内の整備点検

市民の文化的・学術的活動を支援につなげるため園内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に園内の整備点検を行っている。

1.1.9.5 資料展示替

特になし

1.1.10 新穂歴史民俗資料館

1.1.10.1 事業趣旨

当初は、大野川ダム建設事務所であった建物を利用して、昭和 55 年に開館した。トキをはじめとして、旧新穂村に関する資料を中心に考古・農具などが収集されていた。これらの資料をさらに有効利用するため、昭和 62 年に現在の資料館が建設された。1 階において芸術・伝統芸能、2 階において考古と民俗資料の展示を行っている。また、1 階では裂き織りや勾玉作りの体験を随時受け付けている。

1.1.10.2 展示構成

まず 1 階では、新穂出身の日本画の大家土田麦僊の作品や鬼太鼓、国指定文化財の文弥人形、県指定文化財の説経人形、のろま人形に関する資料が展示されている。2 階においては、国指定重要文化財の新穂玉作遺跡や蔵王遺跡の資料、また各種農具や生活用具といった民俗資料が展示されている。

1.1.10.3 常設展示の保守点検・補修

平成 22 年度より、地元の裂き織りサークルに受付業務の委託を行っている。受付以外の施設保守については、職員が随時点検することで補完している。

1.1.10.4 資料展示替え

常設展示については、基本的に展示替えを行っていない。

1.1.11 金井歴史民俗資料収蔵庫

1.1.11.1 事業趣旨

広く佐渡国中平野における農耕文化資料等の保存を目的として、昭和 50 年に竣工した。その後、郷倉が両津市大字上横山（現在の佐渡市上横山）から移築されている。民俗資料約 2,000 点、考古資料約 4,000 点を収蔵している。平成 23 年度から資料館としての開館は行っていない。

1.1.12 明治記念堂（開導館）

1.1.12.1 事業趣旨

明治 27 年から 28 年にかけて行われた日清戦争で、佐渡出身の兵士 40 余名が戦死した。その英霊を慰めるため明治 29 年に、金井地区得勝寺の住職である本莊了寛が一念発起し、島内外から義捐金を集め、敷地を購入し堂宇を建立し「明治記念堂」と名付けた。

その後、付属施設として博物資料を展示するための「開導館」を建てた。相川の鉱山学校から譲り受けた資料や、日清・日露戦争等の資料、島内外の資料を陳列した。明治 35 年に、明治記念堂と開導館の落成式が開催された。

現在、資料館としての開館は行っておらず、今後文化財として活用する予定。

1.2 企画展示

1.2.1 両津郷土博物館

本間孝の視座 ―佐渡の原風景写真展―

会期：平成25年8月1日（木）

～平成25年9月30日（月）

内容：相川出身の本間孝氏（平成24年逝去 享年62歳）が島内で撮り続けた写真のネガやプリント類、図録類がご遺族のご厚意により寄贈されたことを受けて開催した。寄贈された膨大なネガ・プリント類のうち、1980年代に新潟日報にタイトル入りで掲載されたものを再プリントして展示。さらに、ご遺族・知人のご協力を得て、展覧会出品作品・商業写真・使用した機材・スナップ写真等を借用・展示し、本間氏の年譜と合わせて氏の業績や地域における活動の一端も紹介した。

入館者：1076人。

1.2.2 佐渡植物園

1.2.2.1 春の山野草展

会期：平成25年5月11日～5月12日

主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場：羽茂公民館ホール

内容：出展者10名、展示162鉢、来場者120名

1.2.2.2 ウチョウラン展

会期：平成25年7月6日～7月7日

主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場：羽茂公民館ホール

内容：出展者10名、展示156鉢、来場者131名

1.2.2.3 大文字草展

会期：平成25年10月26日～10月27日

主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場：羽茂公民館ホール

内容：出展者9名、展示148鉢、来場者103名

1.2.2.4 雪割草展

会期：平成26年3月22日～3月23日

主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場：羽茂公民館ホール

内容：出展者11名

展示260鉢、来場者156名

1.2.3 新穂歴史民俗資料館

裂き織り作品展

会期：平成25年10月13日（日）～10月31日（木）

主催：佐渡市教育委員会（社会教育課佐渡学センター）

新穂さきおりサークル

内容：10月13日の「トキタ映え市」に合わせて開催。

主に島内在住の裂き織り愛好者が、自作品を出品した。作品数202点。入館者数242人

1.2.4 史跡佐渡奉行所跡

ひな人形特別展示

会期：平成26年3月1日（土）～3月23日（日）

主催：佐渡市教育委員会

内容：佐渡國相川ひなまつりが開催されるのに合わせて実施した。合併前に相川郷土博物館が相川町内からいただいたひな人形を中心に展示した。

1.3 収集保管事業

○金泉収蔵庫再整理作業 4771件（4月～3月）

○クジラの化石 2点（寄贈）

○旧浦川小学校所蔵考古資料他 1箱（寄贈）

○旧新穂公民館 トキ保護活動記録類 1箱（寄贈）

○金銀鉱石（佐渡鉱山）1点（5月）（寄贈）

○新潟市 金子家資料（追加分）（マエカケ）1点（7月）（寄贈）

○相川 本間寅雄氏所蔵資料（追加分）13点（10月）（寄贈）

1.4 調査研究事業

1.4.1 ホームページ更新

随時

1.4.2 調査回答事業（通年）

郷土博物館は特に歴史文化の情報センターとしての役割も多く、関係機関・市民・児童生徒・県内外にお住まいの方々から、幅広いお問い合わせをいただいている。

調査研究・観光等々目的も多岐にわたるが、電話で

の回答やFAX等での資料提供をさせていただいた。

1.4.3 寄贈・寄託資料デジタルアーカイブ化

および目録作成

1.4.3.1 古文書デジタルアーカイブ化及び資料調査

- 相川地役人長井家文書 25 件
- 佐渡博所蔵佐渡金銀山関係文書 6 冊
青盤間歩開発覚、小判御用中取計一件、小判所一件、御奉行高尾孫兵衛様御尋へ付、金銀山稼方、今般御直山請負大工取始末一件
- 島根県内佐渡金銀山絵巻
和銅博物館所蔵1、出雲歴史博物館所蔵2、石見銀山所蔵1
- 上相川地籍図
- 柴田収蔵世界地図
- 鹿児島・尚古集成館所蔵佐渡金銀山冊子
鹿児島大学、串木野鉾山（金山）佐渡金銀山関連資料調査
- 東京中央図書館所蔵佐渡金銀山絵巻
- 東海大学中央図書館所蔵佐渡金銀山絵巻
- 東京大学所蔵佐州相川惣銀山敷岡高下振矩絵図
- 新潟歴史博物館所蔵佐渡金銀山絵巻（断片）

1.4.3.2 旧金泉中学校所蔵庫保存資料リスト作成

- 調査、資料撮影、リスト作成
総件数 4,771 件

1.4.3.3 佐渡博物館所蔵品調査およびリスト作成

- 所蔵品確認
- リスト作成

1.4.5 共催事業・協力事業

- 県歴史博物館企画展「親鸞展」佐渡関係資料調査同行、撮影
中興・西蓮寺、新穂北方・立蓮寺、庭場：本龍寺

1.4.6 ジオパーク支援調査等業務

- 各ジオサイト調査および写真撮影
- 船上から枕状溶岩撮影
- ジオパーク基本構想作成
- ジオマップ作成

- ジオサイト案内作成
- 生痕化石調査、地団研ポスター作成
- ジオパーク申請書作成
- 調査研究報告粗佐渡の自然史第1号 編集
- 指定研究校授業
小学校2校、中学校1校、高校1校

1.4.3.4 稀少出版物およびリポジトリ関係資料のデジタル化

- 教育委員会及び世界遺産推進課発刊調査報告書等のリポジトリ関係資料のデジタル化
本年度リポジトリ提供資料 10 件

1.5 支援、助成事業

1.5.1 伝統文化等保存支援補助事業

- 1.5.1.1 体験学習事業 佐渡の能を識る会「さわってみよう佐渡の芸能」
・舞囃子「羽衣」鑑賞、能楽4拍子・謡い・仕舞いの各体験・ミニ講演、「文弥人形」体験
・8月9日～10日開催
・のべ118名参加 金井能楽堂

- 1.5.1.2 後継者育成事業 佐渡鷺流狂言研究会
佐渡鷺流狂言後継者育成
・通年10名 真野ふるさと会館

- 1.5.1.3 後継者育成事業 真明座「佐渡の人形芝居（文弥人形）講座・指導」
・4月～12月
・10人
・真野中学校・新穂中学校 総合学習

- 1.5.1.4 後継者育成事業 高千中学校「文弥人形伝承教室」
・通年10名
・高千中学校等

- 1.5.1.5 特別活動支援事業 羽茂高校「郷土芸能部」
・生徒22名
・長崎県島原市 全国高等学校総合文化祭参加
・平成25年7月28日～8月3日

1.5.2 佐渡博物館との事業連携

1.5.2.1 「佐渡博さよなら展」支援

○期間 平成 25 年 10 月 19 日(土)～11 月 24 日(日)

○展示関係印刷物、ポスター、展示目録等作成

1.6 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会 連携協定事業

1.6.1 シンポジウム

平成 25 年度は、大学行事の関係で休止

1.6.2 佐渡学セミナー

平成 25 年度は、佐渡博物館引き継ぎ業務の関係で
休止

1.6.3 佐渡芸能体験研修

9 月 12 日～15 日

赤泊地区

1.7 新潟大学図書館との連携協定業務

リポジトリ資料の提供

1.8 刊行物

○佐渡学センター 年報 第 5 号

○第 3 回 佐渡学セミナー記録集

1.9 イベント（共催事業）

1.9.1 相川宵の舞（史跡佐渡奉行所跡）

6 月 1～2 日

1.9.2 白山丸まつり（佐渡国小木民俗博物館）

7 月 27～28 日

1.9.3 新穂夕映え市

10 月 13 日

1.10 その他（キャンペーン協賛）

1.10.1 首都圏佐渡連合会会員限定

1.10.2 「佐渡観光・文化検定」合格者優待特典

1.10.3 佐渡友好交流パス

2 交流普及事業概要

2.1 視察・団体受入れ状況

2.1.1 両津郷土博物館

月日	曜日	団体	人数
5 月 16 日	木	ハ幡保育園	120
5 月 2 日	木	佐渡市立両津小学校	46
5 月 24 日	金	佐渡市立内海府小学校	19
5 月 13 日	日	佐渡市立河崎小学校	9
6 月 13 日	木	佐渡市立椎崎保育園	22
9 月 12 日	木	佐渡市立行谷小学校	32
10 月 8 日	火	佐渡市立金井新保保育園	62
10 月 16 日	水	佐渡市立水津保育園	16
11 月 8 日	金	佐渡市立両尾保育園	18
10 月 29 日	火	佐渡高等職業訓練校	11
11 月 26 日	火	畑野地区公民館	23

2.1.2 相川郷土博物館

月日	曜日	団体	人数
4 月 12 日	金	佐渡市立羽茂中学校	9
4 月 18 日	木	佐渡市立内海府中学校	1
4 月 23 日	火	佐渡高等職業訓練校	9
4 月 23 日	火	佐渡高等職業訓練校	9
5 月 14 日	水	佐渡市立金井小学校	78
5 月 28 日	火	佐渡市立河原田小学校	33
5 月 27 日	月	佐渡市立赤泊中学校	18
6 月 6 日	木	佐渡市立両尾小学校	21
6 月 20 日	木	佐渡トキソーデーウォーク実行委員会	100
7 月 5 日	金	佐渡市世界遺産推進課	16
8 月 12 日	月	佐渡市世界遺産推進課	20
9 月 17 日	火	佐渡市世界遺産推進課	11
11 月 21 日	木	佐渡市世界遺産推進課	19
11 月 20 日	水	佐渡市立七浦小学校	12

2.1.3 史跡佐渡奉行所跡

月日	曜日	団体	人数
4 月 11 日	木	佐渡市世界遺産推進課	14
4 月 18 日	木	佐渡市立羽茂中学校	18
7 月 19 日	金	佐渡市立新穂中学校	9
4 月 19 日	金	佐渡市立内海府中学校	2
4 月 26 日	金	佐渡市立相川中学校	4
5 月 25 日	土	佐渡市地域振興課離島交流係	2
5 月 23 日	木	観光振興課	0
5 月 28 日	火	佐渡市立赤泊中学校	18
5 月 28 日	火	佐渡市立河原田小学校	33
6 月 9 日	日	佐渡市世界遺産推進課	34
6 月 14 日	金	佐渡市立両尾小学校	21
7 月 6 日	土	佐渡市地域振興課離島交流係	16
10 月 20 日	日	佐渡トキソーデーウォーク実行委員会	100
7 月 24 日		佐渡市議会事務局	12

7月11日	木	佐渡市世界遺産推進課	16
7月12日	金	佐渡市立真野中学校	5
7月12日	金	佐渡市立真野中学校	5
7月28日	日	佐渡市立小木小学校	250
8月2日	金	佐渡市地域振興課離島交流係	5
8月6日	火	佐渡市世界遺産推進課	20
8月9日	金	佐渡市世界遺産推進課	3
8月10日	土	佐渡市世界遺産推進課	3
8月10日	土	佐渡市世界遺産推進課	3
8月20日	火	佐渡市世界遺産推進課	20
8月22日	木	新潟県立佐渡高等学校	92
8月27日	火	佐渡市世界遺産推進課	5
9月19日	木	佐渡市立真野小学校	39
9月10日	火	佐渡市世界遺産推進課	2
9月27日	金	佐渡市世界遺産推進課	5
9月17日	火	佐渡市立相川小学校	24
9月22日	日	佐渡市世界遺産推進課	11
9月30日	月	新潟県立佐渡中等教育学校	46
10月2日	水	新潟県立羽茂高等学校	67
10月2日	水	佐渡市立前浜中学校	7
10月3日	木	新潟県立相川高等学校	52
10月17日	木	佐渡市世界遺産推進課	5
10月25日	金	佐渡市立八幡小学校	10
11月6日	水	佐渡市世界遺産推進課	18
11月23日	土	佐渡市世界遺産推進課	19
11月26日	火	佐渡市立畑野小学校	33
11月27日	水	佐渡市観光振興課	4
11月28日	木	佐渡市立七浦小学校	12
3月20日	木	佐渡市世界遺産推進課	4

5月19日		佐渡市高千瀧下麻紀子	23
5月22日		新潟市三浦晃子	36
5月24日		裏館小	60
5月30日		小千谷市立千田小	20
5月30日		新発田市立荒橋小	12
5月30日		三条市立笹岡小	35
5月30日		新潟市立潟東南小	17
5月31日		新潟市立月潟小	29
5月31日		村上市立塩野町小	16
6月2日		横浜市出崎栄子	11
6月4日		新潟市徳林也源	4
6月4日		三条市立西鱒田小	12
6月4日		新潟市立岡方第二小	29
6月4日		五十沢小	31
6月5日		新潟市立山潟小	58
6月5日		燕市立燕東小	31
6月5日		京ヶ瀬小	16
6月5日		水原小	47
6月6日		新潟市立南万代小	63
6月6日		新津第二小	92
6月6日		小須戸小	48
6月6日		大鷲小	16
6月6日		新発田市立中浦小	25
6月6日		糸魚川市立浦本小	9
6月7日		新潟市立上山小	21
6月7日		阿賀野市立保田小	52
6月7日		内野小、希望が丘分校	1
6月7日		村上市立神納小	12
6月7日		阿賀野市立分田小	8
6月7日		神山小	23
6月8日		笹岡小	42
6月10日		紫竹山小	40
6月11日		両津中	30
6月11日		新潟市立真砂小	63
6月11日		才津小	42
6月12日		早通小	0
6月12日		新発田市立加治川小	29
6月12日		御免町小	47
6月12日		新潟市立荻川小	46
6月12日		牡丹山小	20
6月13日		阿賀小	44
6月13日		片貝小	49
6月13日		桃山小	22
6月13日		春日小	31
6月13日		山倉小	53
6月13日		月岡小	5
6月13日		大野小	25
6月13日		小出小	4
6月13日		新津第一小	26

2.1.4 相川技能伝承館

月日	曜日	団体	人数
4月18日		羽茂中	8
4月25日		胎内市立胎内小	40
4月25日		三条市立大崎小	17
4月26日		加茂小	61
5月8日		村上市立砂山小	18
5月9日		新潟市立金津小	44
5月9日		〃内野小	27
5月9日		関川村立関川小	20
5月9日		平林小	20
5月10日		小千谷市立南小	20
5月10日		加茂市立加茂南小	51
5月10日		五日町小	18
5月15日		魚沼市立須原小	13
5月15日		新潟市立亀田東小	36
5月16日		新潟市立浜浦小	53
5月17日		新発田市立川東小	22
5月19日		佐渡市立加茂小	25

6月14日	燕市立吉田小	47
6月14日	新潟市立丸山小	20
6月14日	橘小	13
6月14日	千手小	16
6月14日	上野小	7
6月14日	長岡市立山古志小	0
6月15日	小合小	12
6月18日	五泉市立大蒲原小	16
6月18日	新潟市立横越小	33
6月18日	阿賀野市立安野小	57
6月19日	松浜小	45
6月19日	上越市立安塚小	24
6月19日	新潟市立関屋小	23
6月19日	柏崎市立中通小	19
6月19日	新潟市立栄小	22
6月19日	蓮野小	44
6月20日	伊米ヶ崎小	20
6月20日	鏡淵小	68
6月20日	村上市立保内小	35
6月20日	田上小	26
6月21日	刈羽小	0
6月21日	保内小	35
6月23日	ハ海山東京営業所	13
6月23日	〃大阪営業所	4
6月23日	ハ海醸造(株)	31
6月25日	下山小	64
6月25日	黒川小	13
6月26日	長岡市立関原小	95
6月26日	五泉市立五泉小	44
6月26日	東中野山小	0
6月26日	亀田小	64
6月26日	新潟市立小林小	26
6月27日	青山小	27
6月27日	長岡市立前川小	18
6月27日	新通小	51
6月27日	塩沢小	33
6月27日	枇杷島小	0
6月28日	長岡市立中島小	50
6月28日	燕市立吉田北小	22
6月28日	新潟市立曾野木小	32
7月2日	豊田小	18
7月2日	赤泊地域センター	8
7月3日	柏崎小	0
7月3日	下小国小	12
7月3日	大形小	62
7月3日	脇野町小	44
7月3日	新発田市立猿橋小	43
7月4日	入舟小	45

7月4日	田上町立羽生田小	69
7月4日	新潟市立万代長嶺小	18
7月4日	中野山小	26
7月4日	剣野小	0
7月4日	村上市立山辺里小	34
7月5日	新潟市立竹尾小	56
7月5日	後山小	5
7月5日	上越市立保倉小	24
7月7日	赤泊地域センター	7
7月7日	七浦小 PTA	36
7月9日	相川小5年生	22
7月10日	南魚沼市立浦佐小	41
7月11日	満日小	8
7月11日	新潟市立越前小	11
7月12日	五泉市立十全小	13
7月12日	県立長岡ろう学校小学部	3
7月13日	村上市立村上小	23
7月17日	堀之内小	51
7月17日	高柳小	11
7月18日	長岡市立栖吉小	43
7月19日	赤谷小	7
7月23日	伝統文化と環境福祉の専門学校	30
7月24日	新発田市立竹俣小	5
7月25日	第四リース(株)	3
7月25日	阿賀町立西川小	12
7月25日	新発田市立加治川小	0
7月26日	阿賀町立津川小	35
7月29日	コープネット総合企画	0
7月30日	中条小	13
7月31日	鹿瀬小	13
7月31日	日出谷小	9
8月5日	上越市立里公小	39
8月29日	柏崎市立内郷小	26
9月4日	新道小	0
9月5日	田尻小	53
9月5日	五泉南小	40
9月5日	五泉市立愛宕小	26
9月5日	川口小	35
9月6日	伝統文化と環境福祉の専門学校	34
9月6日	検修荒井大輔	27
9月9日	五泉市立川東小	28
9月12日	五泉東小	49
9月12日	新潟市立大通小	46
9月13日	五泉市立巢本小	23
9月19日	大淵小	28
9月24日	研修荒井大輔	8
9月30日	佐渡中等教育学校1年	42
10月4日	田沢小	10

10月5日		NPO 法人にいまーる	17
10月11日		JR 新潟車両センター	6
10月20日		なでしこの会	27

2.1.5 佐渡国小木民俗博物館

月日	曜日	団体	人数
4月26日	金	佐渡市立相川中学校	31
5月23日	木	佐渡高等職業訓練校	9
4月19日	金	佐渡市立新穂中学校	10
5月1日	水	佐渡市立新穂小学校	66
5月2日	木	佐渡市立両津小学校	59
6月4日	土	ジオパーク推進室	20
6月8日	土	ジオパーク推進室	20
8月25日	日	アース・セブレーション実行委員会	30
7月12日	金	新潟県博物館協議会	14
8月22日	木	新潟県立佐渡高等学校	47
10月22日	火	佐渡市教育委員会西教育事務所	23
12月7日	土	ジオパーク推進室	20
12月14日	土	ジオパーク推進室	20
12月21日	土	ジオパーク推進室	20

2.1.6 海運資料館

月日	曜日	団体	人数
5月23日	木	佐渡高等職業訓練校	9

2.1.7 新穂歴史民俗資料館

月日	曜日	団体	人数
8月8日	木	世界遺産推進課文化財室	20
9月10日	火	新穂地区公民館	30
10月1日	火	佐渡市立真野小学校	46
9月22日	日	佐渡市世界遺産推進課	11
10月29日	日	佐渡高等職業訓練校	11
11月29日	日	佐渡市立沢根小学校	12

2.2 出前授業・講演等

○5月17日（金）

しまびと元気応援団（水芭蕉グループ）

相川方面案内

○7月9日（火）

佐渡市立河崎小学校3年生 総合学習「鬼太鼓について調べよう」講義

○7月10日（水）

菱肥会研修「佐渡の地誌と農業関連の動向について」講演

○9月10日（火）

新穂公民館いきいき学級「新穂資料館所蔵の美術工

芸品説明」

○10月18日（金）しまびと元気応援団（水芭蕉グループ）相川方面案内

○11月11日（月）佐渡博物館高齢者学級

「佐渡の地質と金銀山」展示をもとに解説

○11月12日（火）高千中学校 総合学習「高千・外海府地区の歴史・文化」講義

11月26日（火）畑野高齢者学級案内

3 職場体験

本年度実績無し

4 学芸員実習受入れ

本年度実績無し

5 佐渡博物館引き継ぎ業務

財団法人佐渡博物館が運営していた佐渡博物館について、平成25年11月30日財団が解散により、収蔵品を佐渡市への寄附行為されたことにより佐渡市が事業を引き継いだ。

○平成25年11月30日 財団法人佐渡博物館解散。

○平成25年12月佐渡市議会へ博物館条例の一部改正提案。（佐渡市立佐渡博物館設置）

○財団法人（清算人）から佐渡市への引継・市立博物館として開館するため、準備を開始。

○平成26年4月1日（市立）佐渡博物館の開館。

IV 関係団体

1 佐渡市博物館協議会

佐渡市博物館協議会は、「博物館・資料館のあり方」のテーマにより、基づいて具体的な運営や事業に係る議論を重ねた。

1.1 第1回 佐渡市博物館協議会

平成 25 年 8 月 8 日（水）

- ・委員の委嘱について
- ・平成 24 年度事業報告について。
- ・平成 25 年度事業計画（案）について。

1.2 第2階 佐渡市博物館協議会

平成 26 年 2 月 25 日（火）

- ・平成 25 年度事業報告について。
- ・平成 26 年度事業計画（案）について。
- ・佐渡博物館に関することについて。

V 日誌抄

1 両津郷土博物館

※佐渡学センターを含む

4月1日(月) 辞令交付
 4月4日(木) 所管施設へあいさつ
 4月5日(金) 所管施設へあいさつ
 4月19日(金) 姉妹都市交流担当者会議出席
 4月23日(火) 交通政策課が館長室で会議
 4月24日(水) 新潟県立歴史博物館特別展開場式出席
 5月8日(水) 相川方面にて特別展の予備調査
 5月9日(木) 交通政策課が館長室で会議
 5月22日(水) 手入れのために他館から美術工芸品類を搬入
 5月23日(木) 新潟大学人文学部へ出張、打ち合わせ 交通政策課が講堂で打ち合わせ
 5月27日(月) 小木方面にて資料予備調査 両津地区地域審議会
 5月28日(火) 収蔵庫内整理整頓作業
 5月29日(水) 玄関にサドガエルの飼育ケースを設置
 5月30日(木) ジオパーク市民講座開講 新潟日報歴史フォーラム打ち合わせ
 5月31日(金) 新潟県立歴史博物館企画展予備調査対応
 6月3日(月) 資料貸し出し対応
 6月5日(水) 金泉中学校跡民具整理打ち合わせ
 6月10日(月) 貸し出し資料返却対応～11日
 6月14日(金) 吾潟でテレビ局取材対応
 6月18日(火) 佐渡とき保護会が啓発冊子を配布
 6月22日(土) 新潟日報歴史フォーラム(会場:アミューズメント佐渡)
 7月1日(月) 佐渡市文化財保護審議会出席 明治記念堂公開対応
 7月3日(水) 新潟県教育庁文化行政課で佐渡博物館問題の協議
 7月8日(月) 資料貸し出し対応
 7月11日(木) 新潟県博物館協議会運営研究会来島・視察・研修～7月12日
 7月16日(火) 明治記念堂公開対応
 7月23日(火) 資料貸し出し対応～7月29日
 8月1日(木) 佐渡学センター年報発送 特別展「本間孝の視座－佐渡の原風景写真展－」開始 交通政策課が館長室で会議
 8月2日(金) 明治記念堂公開対応

8月8日(木) 第1回佐渡市博物館協議会
 8月19日(月) 新穂歴史民俗資料館資料閲覧対応
 8月27日(火) 文化庁石垣調査官視察対応 佐渡博物館閉館記念特別展打ち合わせ
 8月29日(木) 平成26年5月に予定の淡交会お茶会打ち合わせ
 8月30日(金) 金泉中学校跡民具整理作業進捗状況確認
 9月2日(月) 資料貸し出し対応～9月3日
 9月4日(水) 平成26年5月に予定の淡交会お茶会打ち合わせ
 9月5日(木) 資料返却対応
 9月6日(金) 金井歴史民俗収蔵庫公開対応
 9月12日(木) 新潟大学人文学部高木学部長にあいさつと送迎
 9月17日(火) 台風による被害状況見回り 渡博物館閉館記念特別展打ち合わせ
 10月2日(水) 特別展「本間孝の視座－佐渡の原風景写真展－」
 10月4日(金) 植物園友の会の研修に同行 真野方面にて資料調査
 10月6日(月) 特別展「本間孝の視座－佐渡の原風景写真展－」借用資料返却
 10月9日(水) 交通政策課が館長室で会議
 10月22日(火) 金泉中学校跡民具整理の現地確認
 10月30日(水) 真更川ふるさと展示館収蔵品の現地確認
 11月5日(火) 佐渡博物館閉館記念特別展展示品を写真撮影
 11月7日(木) 久保田きぬ子氏資料について相川方面にて予備調査
 11月11日(月) 新潟県立文書館による文書調査立会～11月13日(水)
 11月21日(木) 交通政策課が館長室で会議
 11月22日(金) 佐渡博物館についての打ち合わせ
 11月23日(土) ジオパーク市民講座閉講式
 11月25日(月) 佐渡博物館閉館記念特別展展示品を写真撮影
 11月27日(水) 資料返却作業立会～11月28日
 12月3日(火) 大和田公民館で資料調査
 12月4日(水) 佐渡博物館寄託・収蔵資料の確認作業開始。佐渡博物館寄託資料原簿と収蔵資料原簿のデータ化開始。
 12月18日(水) 新潟県観光物産「朱鷺基金」贈呈

式

- 2月21日(金) 新穂地区説明会
- 2月25日(火) 第2回佐渡市博物館協議会
- 3月6日(木) 佐渡博物館仮オープンに向けた展示換え開始
- 3月20日(木) 明治記念堂公開対応 資料返却対応
- 3月26日(水) 交通政策課が会議のため使用 新穂地区意見交換会
- 3月29日(土) 佐渡とき保護会が引越しのため資料等を搬出
- 3月31日(月) 佐渡博物館仮オープン準備の仕上げ

2 相川郷土博物館

- 4月1日(月) 奉行所より お雛様返却
- 4月13日(土)～14日(日)
奉行所 岩崎さん 台所屋根修理
- 4月16日(火) 佐渡汽船東京営業所 下見
- 4月30日(火) 総務文教委員 視察
- 5月3日(金) 全館 バルサン実施
- 5月4日(土) 地役人の子孫 鈴木氏 田中葵園の資料閲覧
- 5月14日(火) 収蔵庫より 資料7点 佐渡博へ
- 5月15日(水) 収蔵庫より 資料2点 佐渡博へ
- 5月17日(金) 収蔵庫より 古写真 佐渡博へ
新大橋本先生と学生3人 橋古墳の実測(一部遺物貸出)
- 5月18日(土) 新大橋本先生と学生3人 遺物返却
- 5月20日(月) 佐渡博より一部資料返却(千両箱.辞令)
- 6月10日(月) 県立歴史博物館より 資料返却
- 6月12日(水) ホテル万長 渡邊専務さんへファイル「書画.美術工芸品台帳」貸出し
- 6月29日(土) 文書館にて資料調査(文化財関係3名)
- 7月4日(木) 3F 橋古墳遺物 世界遺産推進課へ貸出し
- 7月8日(月) 3F 橋古墳遺物世界遺産推進課より返却、県立歴史博物館へ 浜端古墳の遺物24点貸出し
- 7月11日(木) 文化財保存協会より 建物調査
- 7月20日(土) 市緊急情報伝達システム受信機設置
- 7月25日(木) 相川中学校2年生1名 職場体験1日目、佐渡博物館へ デスモスチルス類の骨2点貸出し
- 26日(金) 職場体験2日目
- 8月4日(日) 文書館にて資料調査(中村氏.本間氏)
- 8月5日(月) ”
- 8月7日(水) 世界遺産推進課.小田参事他5名 収蔵庫視察

- 8月20日(火) 佐渡人権展 夏季講座現地研修(世界遺産)
- 8月22日(木) 社会教育課長 教育長 収蔵庫視察
- 8月27日(火) 文化庁他 収蔵庫視察
- 9月6日(金) 佐渡博物館より デスモスチルス類の骨2点返却
- 9月14日(土) 東京大学 史料編纂所 杉本先生 他4名 石井夏海.文海資料調査
- 9月26日(木) 県立歴史博物館より 資料返却
- 10月9日(水) 旧北中へ 一般本運ぶ(20箱)
- 10月20日(日) トキソーデーウォーク
- 11月4日(月) 文章館にて資料調査(中村氏.本間氏)
- 11月5日(火) ”
- 11月9日(土) ”古文書講座 川島氏より
コピー依頼 伊藤氏日記(四)～(六) 御用留
- 11月23日(土) 新湖社「小説新湖」編集部4名 佐渡全区撮影
- 12月2日(月) 旧北中へ本及び資料(スキャナー済みファイル) 運ぶ(29箱)
- 12月3日(火) CNS 宇治さん 金鉾石の撮影
- 12月10日(火) 文書館の窓ガラス1枚割れているの発見
- 平成26年1月22日(水) 業者下見(収蔵庫の鉛)
- 1月31日(金) 観光振興課他3名 有田八郎の資料をみる
- 2月5日(水) 水道凍結(トイレ使用不可)
- 2月6日(木) ”
- 2月7日(金) ”
- 2月13日(木) 台所湯沸かし器凍結が原因で水漏れ
- 2月21日(金) 奉行所へお雛様運び、午後から飾りつけ

3 相川技能伝承館

記録無し

4 佐渡奉行所

- 1月22日(火) 大広間畳替え(1/22～29)
- 2月1日(金) 畳搬入、搬出 畳廊下
- 2月12日(火) 畳搬入、搬出 畳廊下
- 2月21日(木) 畳搬入
- 2月23日(土) おひな様展示
- 2月27日(水) 廊下ゴザ取替え(2ヶ所)
西側 壁落下(日時不明)
- 3月3日(日) 勝場ワックス
- 3月17日(日) UX 撮影 (吉田類)
- 4月6日(土) 強風の為 15時 勝場閉め

16時 お役所閉め、閉門、幕はずし
 4月9日(火) UX撮影 外観のみ
 4月10日(水) 幕つけ
 4月13日(土) 岩崎(尚)さん、末武さん相博の屋根修理へ
 4月19(土)・20日(日) 石磨を三木石材さんに点検してもらう
 4月22日(月) お役所 バルサン
 4月25(木)・26日(金) 石磨 三木石材さん
 5月3日(金) BS朝日ジャパンビジョン撮影
 5月7日(火) 小バエ大量発生→退治
 5月12日(日) 佐渡ロングライド 対応35名
 5月22日(水) 大久保長安ツアー 豆腐料理試食会(大広間)
 5月23日(木) 高校生写真撮影大会 172名
 6月1(土)・2日(日) 宵の舞
 6月9日(日) 『親子で歩く世界遺産』3班 大人23名、小人27名
 6月14日(金) 富山TV撮影
 6月23日(日) 大久保長安ツアー
 食事あり(地方役所にて)、滝川さん奉行衣装
 6月26日(水) NBS長野撮影
 7月1日(月) スタンプラリー スタート(～9/30まで)
 7月8日(月) 版画甲子園作品展示 5点 (～8/31まで)
 7月13日(土) 佐渡友好交流パス スタート(～9/1まで)
 7月28日(日) お茶会 240人 相中ガイド(8/3～4)
 7月30日(火) ニッポンドットコム撮影
 8月6日(火) フジテレビ「あすなろラボ」撮影 渡辺裕太
 8月24日(土) 佐渡観光協会ホームページ用写真撮影
 9月5日(木) 受付 床のじゅうたん入替
 9月10日(火) 健康診断 (～12日)
 9月14日(土) 金山街道まつり やまびこ会寄勝場にてコンサート
 9月15日(日) 金山街道まつり 羽茂高校
 9月16日(月) 台風18号 お役所雨もり
 10月20日(月) 佐渡トキソーデーウォーク 97名
 10月22日(火) 勝場 ねこ場 タンク水替え
 11月2日(土) 婚活イベント 15名
 11月3日(日) お茶会 219名
 11月7日(月) 観光キャンペーン撮影(第一印刷)
 11月25日(月) 池田先生 CNS勝場撮影3名
 11月26日(火) 強風の為午後閉館
 11月28日(木) 強風の為午後閉館
 12月3日(火) CNS撮影

12月10日(火) 強風の為閉館、幕片づけ
 12月13日(金) 寒波 門閉めたまま開館
 12月14日(土) 勝場ねこ流し 頭船と尻船の水抜き
 12月29日(日) 休館 (～H26.1/3)

5 佐渡国小木民俗博物館

4月3日(水) 内野小学校下見 3名
 中野山小学校下見 3名
 4月4日(木) 西鱒田小学校下見 3名
 両津小学校下見 2名
 岩室小学校下見 2名
 中川塗装 外便所塗装
 4月5日(金) 黒川小学校下見 3名
 満日小学校下見 2名
 中川塗装 外便所塗装
 相川中学校下見 1名
 4月15日(月) 県観光協会取材 5名
 新潟大学付属新潟小学校下見 3名
 新穂中 6名
 胎内小学校 49名
 相川中学校 25名
 4月30日(火) 佐渡市議会視察 13名
 5月1日(水) 新穂小学校 61名
 玄関スロープ改修工事
 5月2日(木) 両津小学校 59名
 玄関スロープ改修工事
 5月14日(火) 草刈
 5月15日(水) クラブツーリズム下見 2名
 5月16日(木) 新潟交通下見 2名
 5月23日(木) 幼稚園いもうえ
 職業訓練校 17名
 5月24日(金) 観光課関係 5名
 5月28日(火) 富山テレビ 2名
 N旅ジャパン下見 1名
 5月30日(木) 塩野町小学校 20名
 県立博物館下見 1名
 6月3日(月) 三本木小学校 160名
 6月4日(火) 西鱒田小学校 8名
 燕東小学校 5名
 6月5日(水) 水原小学校 9名
 さんぽく北小学校 27名
 6月6日(木) 濁川小学校 19名
 6月11日(火) 山田小学校 21名
 6月12日(水) 岩室小学校 40名
 6月13日(木) 桃山小学校 41名
 新津第一小学校 37名
 月岡小学校 18名

6月19日(水) 坂井東小学校 9名
 6月20日(木) 関屋小学校 25名
 小川小学校 29名、栄小学校 24名
 松浦小学校 17名、中通小学校 8名
 三田小学校 5名
 6月25日(火) 黒川小学校 16名
 岩船小学校 42名、飯小学校 28名
 6月26日(水) ひるぶら宿根木撮影
 6月27日(木) 青山小学校 19名、
 新通小学校 56名
 6月29日(土) 畑野支部 36名
 7月1日(月) 3年教室選挙準備
 7月2日(火) 古城小学校 16名
 富曾亀小学校 38名
 7月4日(木) 中野山小学校 86名
 枋尾東小学校 67名
 7月5日(金) 山辺里小学校 38名
 黒条小学校 115名
 7月10日(水) TENY下見 4名
 満日小学校 11名
 神納東小学校 14名
 7月11日(木) 村上小学校 25名
 7月12日(金) 県博物館協議会 14名
 7月17日(水) 青木島小学校 97名
 7月21日(日) 3年教室選挙使用
 7月22日(月) 新潟大学付属新潟小学校 82名
 7月27日(土) 白山丸前夜祭
 7月28日(日) 白山丸まつり
 7月30日(火) 中条小学校 50名
 8月6日(火) あすなろラボ撮影
 8月16日(金) 首都大学 20名
 8月17日(土) 首都大学 20名
 8月18日(日) 首都大学 20名
 8月19日(月) 首都大学 20名
 8月20日(火) 首都大学 20名
 8月21日(水) 首都大学 20名
 8月22日(木) 佐渡高校 44名
 首都大学 20名
 8月23日(金) 首都大学 20名
 9月6日(金) 小木小学校 107名
 9月26日(木) NHK撮影 4名
 10月1日(火) 真野小学校 52名
 CM撮影 20名
 10月8日(火) 北中学校資料搬入
 10月15日(火) イモ掘り
 10月23日(水) 豊島区身体障害者福祉協議会 24名
 11月6日(水) 近畿日本ツーリスト下見 2名

11月7日(木) 新潟県観光協会撮影 67名
 11月27日(水) ナニコレ珍百景撮影 2名
 2月13日(木) NHK撮影 3名
 2月21日(金) フジTV撮影 107名
 3月5日(水) 小木小学校3年 12名
 3月7日(金) 小木保育園 30名
 支援学校 25名
 3月17日(月) 月刊誌散歩の達人取材 1名
 中央区地域振興課視察 7名
 3月19日(水) 版画甲子園 19名
 3月25日(火) 佐渡汽船観光下見 7名
 3月26日(水) 国交省視察 4名

6 海運資料館

4月19日(金) 新穂中学校(総合学習) 4名、見学
 4月30日(火) 総務文教委員会 8名、視察
 5月23日(木) 佐渡高等職業訓練校 17名、見学
 5月28日(火) 富山テレビ 2名、撮影
 5月30日(木) 新潟県立歴史博物館 2名、撮影
 6月12日(水) 富山テレビ 2名、撮影
 6月14日(金) 春日小学校修学旅行 125名(引率者含む)、入館
 7月2日(火) 障害者手帳提示、見学
 7月12日(金) 佐渡学センター、視察
 7月15日(月) 佐渡友好パス、見学
 7月19日(金) 障害者手帳提示、見学
 7月26日(金) 佐渡準市民登録者 2名、見学
 8月3日(土) 佐渡準市民登録者 2名、見学
 8月5日(月) 障害者手帳提示、見学
 8月7日(水) 佐渡学センター 3名、資料館内清掃
 8月11日(日) 佐渡友好パス 2名、見学
 8月17日(土) 佐渡友好パス 3名、見学
 8月18日(日) 佐渡友好パス 7名、見学
 8月23日(金) 上越市議会 7名、視察
 8月24日(土) 佐渡友好パス 2名、見学
 8月25日(日) 佐渡友好パス、見学
 8月25日(日) 佐渡準市民登録者、見学
 10月13日(日) 佐渡準市民登録者 2名、見学
 10月14日(月) 障害者手帳提示、見学
 10月16日(水) 障害者手帳提示、見学
 10月29日(火) 障害者手帳提示、見学
 12月10日(火) 金沢大学生、見学
 1月27日(月) 小木行政SC、見学
 1月29日(水) 第一印刷、撮影
 2月3日(月) 石塚一雄 他2名、寄贈物確認
 2月14日(金) 小木行政SC 3名、撮影
 2月18日(火) 小木行政SC、見学

3月6日(木) 小木行政 SC 2名、撮影
 3月11日(火) 世界遺産推進課 2名、見学
 3月12日(水) 小木小学校6年生27名(引率者含む)、
 見学・撮影
 3月17日(月) 新潟県中央区自治協議会 3名+県
 職員1名、視察
 3月20日(金) 新潟交通モニターツアー(ジオパー
 ク推進室) 21名、見学
 3月23日(日) 障害者手帳提示 2名、見学
 3月24日(月) 福澤ゆかり(新潟日報)、撮影

7 新穂歴史民俗資料館

4月14日(日) 雑誌の取材。主に人形芝居と鬼太鼓
 について
 4月25日(木) 管理・受付業務打ち合わせ
 5月17日(金) 資料貸し出し対応
 5月29日(水) 管理・受付業務打ち合わせ
 5月31日(金) 新潟県立歴史博物館特別展に貸し出
 しのため、資料を予備調査
 6月4日(火) 西鱒田小学校裂き織り体験
 6月7日(金) 新潟日報記者による取材
 6月13日(木) 大野小学校・月岡小学校 勾玉作り・
 裂き織り体験
 6月20日(木) 三用小学校・蓮野小学校 勾玉作り
 体験
 6月25日(火) 市役所世界遺産推進課 水槽内の木
 製品の手入れ～6月27日
 6月26日(水) 新潟県立歴史博物館特別展に貸し出
 しのため、資料を予備調査
 6月28日(金) 世界遺産推進課文化財室視察
 6月29日(土) 管理・受付業務打ち合わせ
 7月2日(火) 島の新聞社取材
 7月4日(木) 資料貸し出し対応
 7月5日(金) 藪神小学校裂き織り体験
 7月11日(木) 寄託資料返却対応
 7月25日(木) 資料貸し出し対応
 7月30日(火) 管理・受付業務打ち合わせ
 7月31日(水) 新穂中学校総合学習について打ち合
 わせ
 8月3日(土) 裂き織りの縫製に使用するミシンの業
 者来館
 8月8日(木) 島内小学校社会科教員の研修で来館
 8月24日(土) 相川中学校 駅伝の練習で休憩場所
 として利用
 8月27日(火) 佐渡市立真野小学校下見
 8月28日(水) 説経人形・のろまん人形・文弥人形の
 取材 管理・受付業務打ち合わせ

8月29日(木) 新穂消費者協会 来館・見学
 8月30日(金) 資料貸し出し対応
 8月31日(土) 佐渡市立真野中学校 駅伝の練習で
 休憩場所として利用。この後も9月の駅伝大会にか
 けて休憩場所利用の中学校多数。
 9月10日(火) 新穂公民館いきいき学級
 9月11日(水) 佐渡市立新穂中学校総合学習(裂き
 織り) 新穂歴史民俗資料館の今後の活用について、
 意見交換
 9月18日(水) 佐渡市立新穂中学校総合学習(裂き
 織り)
 9月21日(土) 神奈川県内の考古学研究者来館
 9月22日(日) 読売新聞の記者が取材
 9月25日(水) 佐渡市立新穂中学校総合学習(裂き
 織り)
 9月29日(日) 管理・受付業務打ち合わせ
 10月1日(火) 佐渡市立真野小学校勾玉作り体験
 10月2日(水) 佐渡市立新穂中学校総合学習(裂き
 織り)
 10月3日(木) 裂き織り作品展会場準備開始
 10月9日(水) 佐渡市立新穂中学校総合学習(裂き
 織り)
 10月13日(日) トキタ映え市対応 裂き織り作品
 展開始
 10月16日(水) 佐渡市立新穂中学校総合学習(裂
 き織り)
 10月23日(水) 佐渡市立新穂中学校総合学習(裂
 き織り)
 10月29日(火) 佐渡高等職業訓練校 研修
 10月31日(木) 管理・受付業務打ち合わせ 裂き
 織り作品展終了
 11月1日(金) 裂き織り作品展撤収 市役所新穂行
 政サービスセンター視察
 11月6日(水) 佐渡市立新穂中学校総合学習(裂き
 織り)
 11月8日(金) 市役所産業振興課 展示ケースを借
 用・搬出
 11月13日(水) 佐渡市立新穂中学校総合学習(裂
 き織り)
 11月15日(金) 佐渡市立行谷小学校社会科
 11月20日(水) CNSテレビ 山車の取材
 11月28日(木) 資料閲覧対応
 11月29日(金) 佐渡市立沢根小学校社会科
 12月10日(火) 佐渡市立二宮小学校社会科
 3月10日(月) 佐渡市立新穂小学校
 3月11日(火) 佐渡博物館で展示する資料を搬出す
 る

3月18日（火） 市役所職員が新潟県文化財保護審議
委員会の視察対応

3月26日（水） 新穂地区意見交換会

3月27日（木） 管理・受付業務打ち合わせ

資料紹介 ^{もくじきたんせいしょうにんえことばでん}『木食弾誓上人絵詞伝』と佐渡市指定文化財「木食弾誓上人関係資料」調査レポート

佐渡学センター 学芸専門員 北見継仁

^{もくじきたんせいしょうにんえことばでん}『木食弾誓上人絵詞伝』

センター所蔵の資料に『木食弾誓上人絵詞伝』全2冊がある。

木食行者として一派をなした弾誓上人は、天文20年(1551)(19年説、21年説もある)、尾張国(現在の愛知県) ^{あまべ}海部郡に生まれた。美濃国府塚尾観音堂にお籠りをしたのち、近江国守山・京都・摂津国一ノ谷を経て、熊野本宮 ^{しゅうじょう}証誠殿に籠った。その後、^{ただ}多田銀山・播磨国加古の津で修業をつみ、天正18年(1590)に佐渡に渡ってくる。

はじめ相川市町に住んでいたが、人に勧められて河原田常念寺に入って得度し、土蓮社光誉善地と称した。慶長7年(1602)寺を去った弾誓は檀特山に籠って木食行を行った。その後島を去った弾誓上人は(慶長9年とも同14年のことともいわれているが不明である)、信州の大町・松本・諏訪を経て江戸へ、さらに箱根を経て京都古知谷に阿弥陀寺を開き、慶長18年

(1613)に阿弥陀寺で即身仏となり63歳の生涯を閉じたといわれている。

「絵詞伝」とは、絵の内容を説明した ^{ことばがき}詞書のついでに絵巻物のことを言う。『弾誓上人絵詞伝』として、「塔の峯本」絵詞伝、「古知谷本」絵伝、「浄苑願寺」本絵詞伝、「唐沢本」絵詞伝、「古知谷本」絵詞伝(版本)、「飯田本」絵伝(軸幅)、「古知谷本」絵詞伝(折本)などが知られている。

『弾誓上人絵詞伝』の原本の成立年代は、目下のところ作者と共に不明ではあるが、慶長18年(1613)に弾誓が古知谷阿弥陀寺で偈化した後の製作であり、塔の峯本(写本)が製作された1660年以前であることは確かである。

当センターの所蔵のものは、「古知谷本版本」(明和4年<(1767)>)で、「塔の峯本」より40年～70年後に成立したものと思われる木版刷りの上下2冊からなるものである(図1・2)。



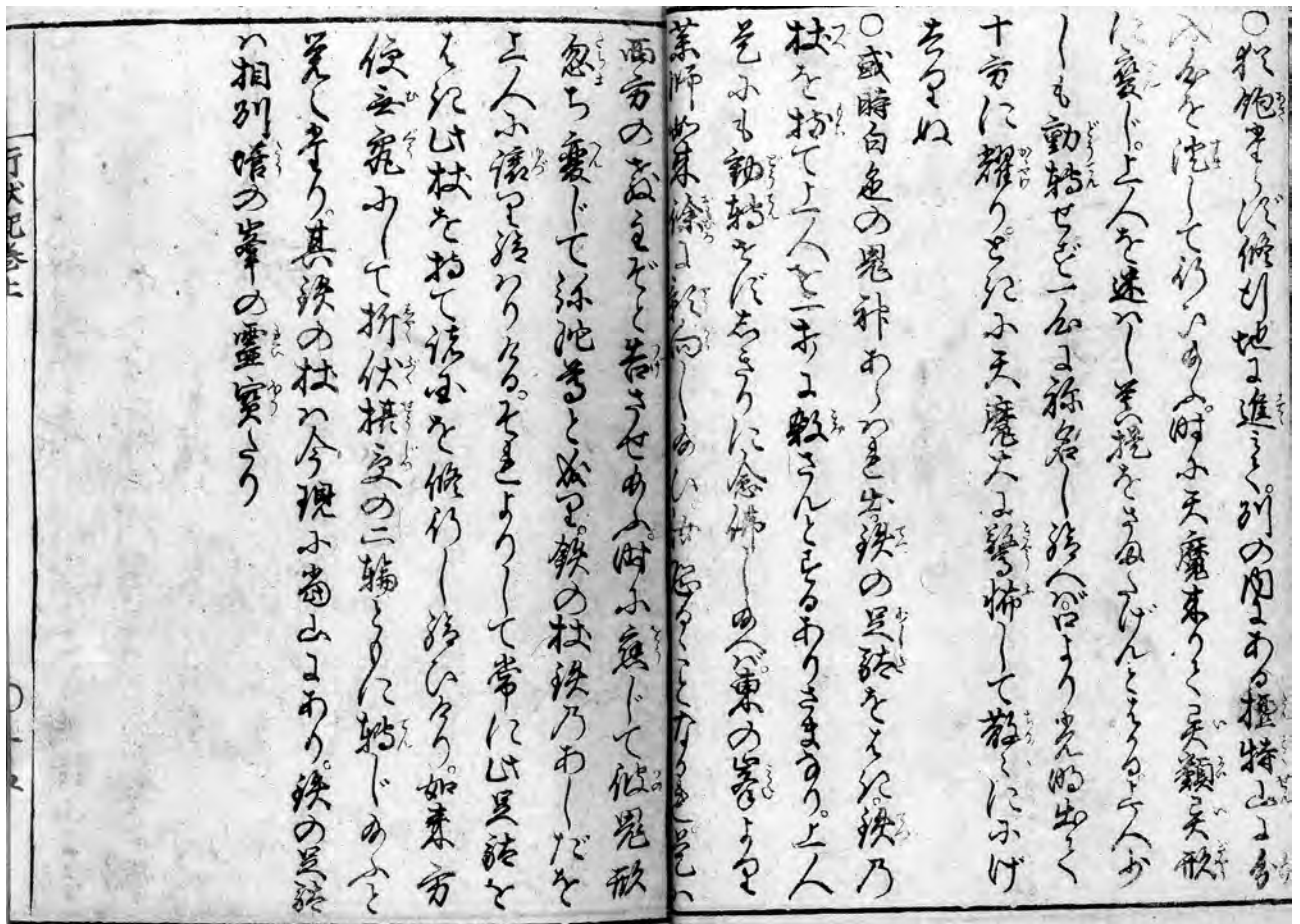
図1 木食弾誓上人絵詞伝



○それより佐渡の國にわたり給ひ。相川の市に入り。水を汲
薪をこり。貧しき家に助をなし。唯いつとなく打しめ
りて念佛し明し暮し給ひける。

○佛名口に絶されば。諸人隨喜し出家をすすめ。川原田の淨念
寺へ誘ひ得度せしめたり。既に剃髪して法衣を身に
まとひ朝暮念佛して食時をだにも知ざれば。寺僧の輩にくみ
嫌ふこと甚し。これにより又市町に歸り。諸人の捨し食物
を拾ひて命をつぐよすがとし。ひたすらに念佛修行
し給へり。

図2 『木食弾誓上人絵詞伝』 卷上より (部分)



○猶飽たらず修行地に進みて。州の内にある檀特山に分
入。心を澄して行ひ給ふ。時に天魔來りて異類異形
に變じ。上人を迷はし菩提をさまたげんとはかる。上人少
しも動轉せず一心に稱名し給へば。口より光明出て
十方に輝り。ときに天魔大に驚怖して散散ににげ
去りぬ。

○或時白色の鬼神あらはれ出。鐵の足駄をはき。鐵の杖
を持て上人を一打に殺さんとするありさまなり。上人
是にも動轉せずしきりに念佛し給へば。東の峰より
藥師如來徐に影向し給ひ。汝恐るることなかれ。是は
西方の教主ぞと告させ給ふ。時に應じて彼鬼形
忽ち變じて彌陀と成り。鐵の杖鐵のあしだを
上人に譲り給はりける。それよりして常に此足駄を
はき此杖を持て諸國を修行し給ひけり。如來方
便無究にして折伏攝受の二輪ともに轉じ給ふと
覺えた其鐵の杖は今現に當山にあり。鐵の足駄
は相州塔の峯の靈寶たり。

図 2-2 『木食彈誓上人絵詞伝』 巻上より (部分)

佐渡市指定文化財「木食弾誓上人関係資料」

この『絵詞伝』の他に木食弾誓関連資料のものとして、佐渡市指定文化財（歴史資料・歴第8号）がある。この資料は3点からなり、平成16年の3月の市町村合併の際に旧金井町指定から佐渡市指定となった。

- ① 弾誓上人筆紙六字名号（縦154cm、横51cm）
（図版4）
- ② 弾誓上人絹本絵像（縦99cm、横25cm）
（図版5）
- ③ 弾誓上人版木（縦30cm、横13cm、厚さ1.5cm）
（図版6）

これらの資料の特徴は、旧泉村松林寺（現牛込阿弥陀堂）（弾誓上人開祖）（図3）所蔵の弾誓上人六字名号で、現在のところ島内唯一のものである。絵像・木版版木の成立時期については、いま断定を加える資料はないが、六字名号は裏書から17世紀内の成立と思われる。また、弾誓上人筆紙六字名号には、「南無阿弥陀仏」と書かれ、左下には「法因光明仏」と署名がある。

なお、弾誓上人絹本絵像の裏書には、

「佐州雑田郡牛込村松林什物開山光明仏御影、板彫共、
外二御名号一幅、信州水内郡横棚村 静 松 寺、実譽学
隆弟子高蓮社水譽隆山当寺住職之砌再興之者也、元文
丙辰年七月十日」

とある（図版7）。そこに松林寺の住職高蓮社水譽隆山が元文元年（1736）にこれらの遺物に補修を加えたことが書かれており、信州水内郡（現在の長野市）の静松寺との交流があったことも表している。

さらに、絵像の右下部分（図版8）を見ると、部分的に消した痕跡が3か所あり、さらに「南無阿弥陀仏」の名号が書かれていることが読み取れる。

また佐渡市指定文化財となっているこの資料は、現在、牛込阿弥陀堂から河原田常念寺（図9）所蔵となった。



図3 旧泉村松林寺（現牛込阿弥陀堂）

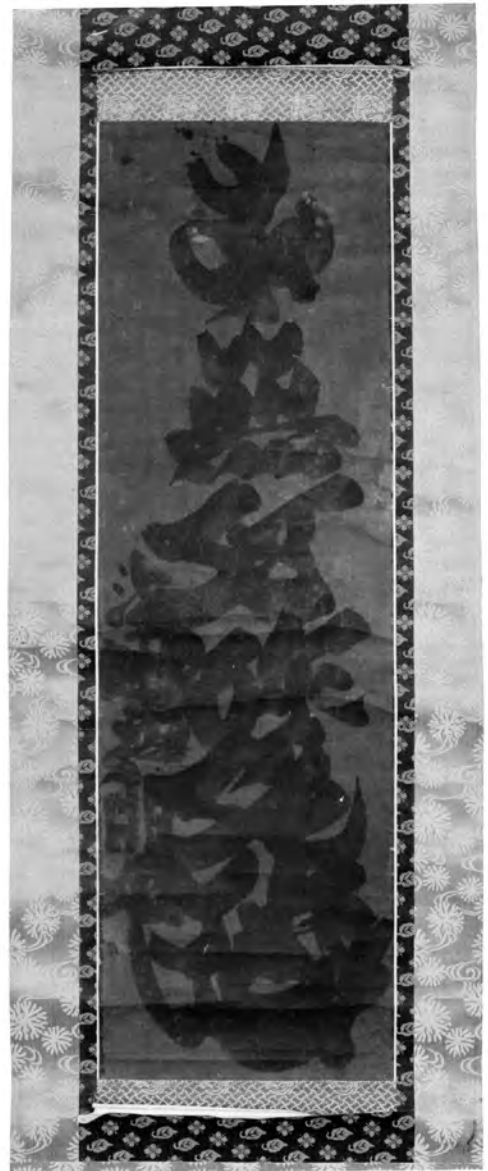


図4 弾誓上人筆紙六字名号



図5 弾誓上人絹本絵像



図6 弾誓上人版木

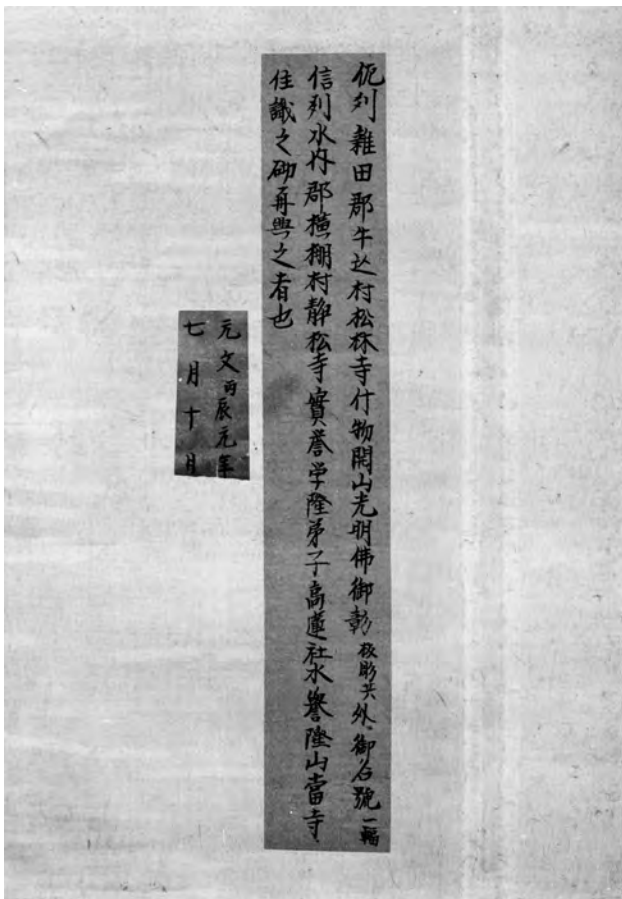


図7 弾誓上人絹本絵像の裏書



図8 絵像の右下部分



図9 河原田常念寺

業務レポート 大型絵図の高精度写真簡便撮影法

佐渡学センター 情報指導員 池田雄彦

1. はじめに

佐渡金銀山は、江戸幕府の財政を支えるため、常に最先端の技術と人が送り投資するなど幕府が力を注いできた。このため数多くの関連古文書が島内外に残されている。佐渡学センターの前身佐渡伝統文化研究所時代から、県内外にある恐らく数千枚の絵図や絵巻等を撮影してきた。絵図の中には、1枚が畳5枚分に及ぶ詳細に描かれた国絵図などの大型の絵図がある。これら大型資料を細部まで観察でき、実寸大で印刷可能なデジタル化データをこれまで数多く作成してきた。

いくら高価で解像度の高いカメラとレンズを使っても、畳数枚分の大きな資料を1カットで撮影した場合、小さな文字の読み取りは困難で、実寸大印刷しても、ボケ写真になり用をなさない。市販カメラを使用して、

それを解決するのは、複数に分けて撮影（以下、分割撮影）し、複数画像を合成するしかない。こうして撮影した絵図を提示すると、「どうすればこんな写真が撮れるのか?」と、時々質問を受ける。そこで、高精度の絵図撮影の簡便法を紹介したい。

2 撮影のための基本

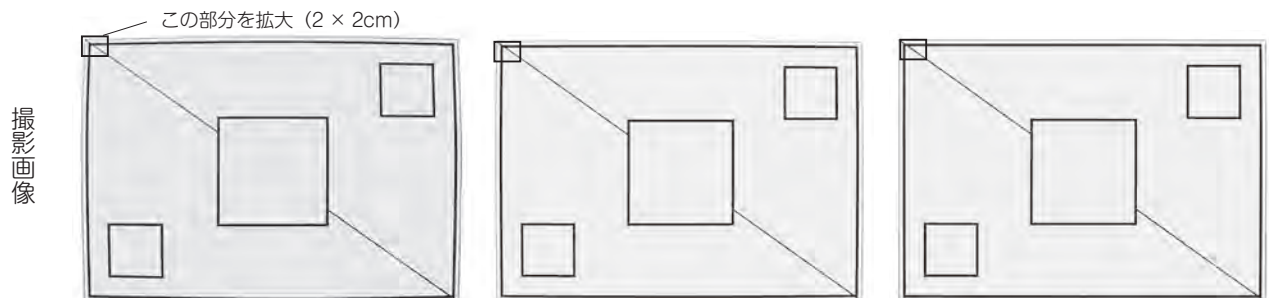
合成写真には、最小限のカメラと光の知識が必要である。撮影および合成処理を少しでも完成度をあげるために必要な基礎知識を簡潔に紹介したい。

2-1 レンズの特性を知る

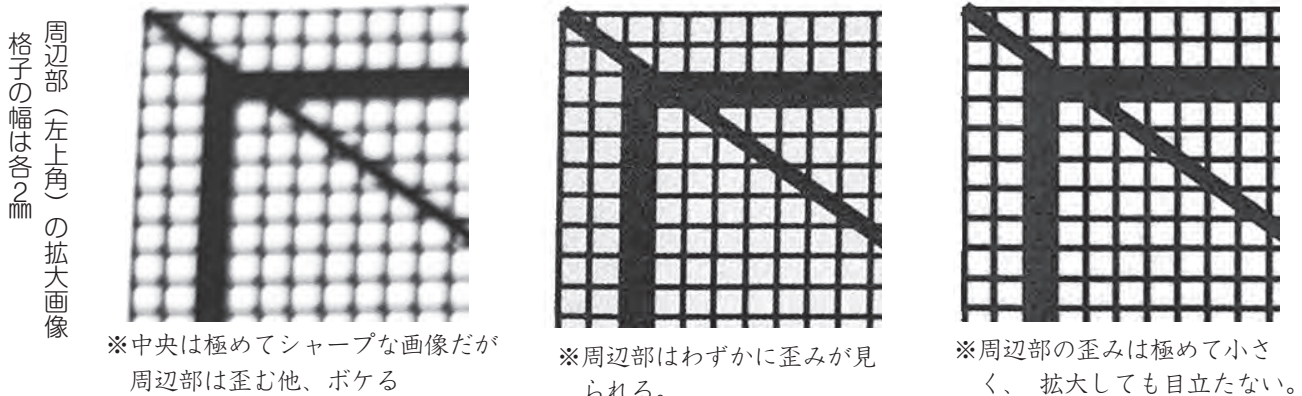
分割撮影するには、レンズの特性を知り、適切なレンズを使うことが大切である。

◎推奨 単焦点の標準レンズを使う

焦点距離	24mm (canon)	50mm (Zeiss Macro-Planer)	100mm (Canon Macro)
レンズからの距離	0.35 m	0.80 m	1.40 m



※上の写真は、画像印刷時、モアレ（干渉縞）が出て縞模様が発生するので、2mm 間隔の格子線は消してある。



※中央は極めてシャープな画像だが周辺部は歪む他、ボケる

※周辺部はわずかに歪みが見られる。

※周辺部の歪みは極めて小さく、拡大しても目立たない。

図1 A3、2mm 格子を撮影した3種のレンズの画像（Canon Mark III 絞り F5.6、露出 Auto）

※レンズの焦点距離は、フルサイズカメラ（画素サイズ 36 × 24mm）の値

ワイドレンズ、標準レンズ、望遠レンズで同じ矩形を撮影してみると周辺部の歪みが大きく異なる（図1）。ワイド系レンズは、近くで広範囲を撮影できる反面、歪みが大きい。この歪みを自動補正する市販ソフト（DxO Optics Pro 等）もあるが、完璧ではない。

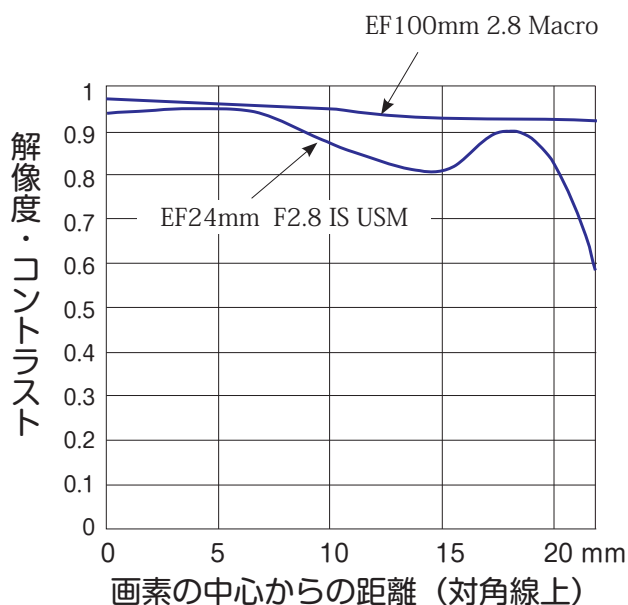
歪みを少なく押さえ、カメラと資料間の撮影距離を短めに、撮影枚数を少なくするには、焦点距離 50mm（以下焦点距離は 35mm フルサイズカメラ）の標準単焦点レンズ（ズームレンズのように倍率が変わらないレンズ）がよい。

また、大型絵図撮影時、ズームレンズは、撮影中に焦点距離が変化する危険性があることと、歪みが単焦点レンズに比べやや大きく使用を避けたい。

カメラに詳しい知識があるならば、所有するレンズの「MTF 特性図」（図 2）を確認してほしい。

2-2 撮影範囲は重複部分を多めにとる

正確に合成写真を完成させるには、手作業で合成を



◎ワイドレンズは、対角線上の端では、図1やこの MTF 特性から、極端に解像度が劣るので、合成撮影のレンズとしては、適切でない。

図2 24mm1 と 100mm レンズの MTF 特性
(絞り F8、空間周波数 30 本/mm)
Canon レンズカタログから引用

しなければならないが、最近の高性能ソフトは、精度も向上し簡便的には満足できる。撮影条件が整えば、自動的に複数枚の画像をうまく合成してくれる。

しかし、細い線が極めて多い地図や絵図などでは未処理の部分が見つかる。数種の専用処理のソフトを使ってみたが、景色や絵画等の写真処理は優れているが、絵図に満足できる完璧なソフトは見当たらない。完璧でないといっても、大絵図を A3 用紙大に印刷する程度なら、ソフトのごまかし部分（処理ミス）は通常分らない。実寸大以上拡大して細い線をチェックして初めて見つかる程度である。

市販ソフトで合成作業を成功させる場合は、重なる部分を多くとって撮影することが成功の秘訣である。

また、理想レンズでない限り、どんな市販の高級レンズでも周辺部分は歪む、合成時は、歪みの多い周辺部分を使わないようにする。（図3）

1 枚の絵図でこれまでの最高分割撮影枚数は 108 枚である（この場合は 1 枚ずつ手作業で合成）。撮影時

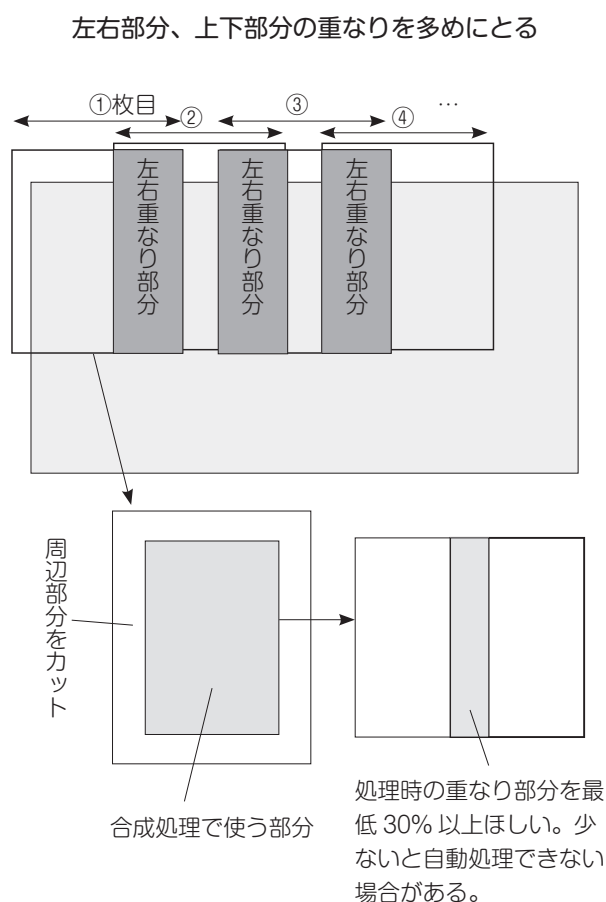


図3 撮影の重なり部分と処理画像の重なり部分

の解像度を保ったまま合成するにはコンピュータの画像処理能力によるところが多いが、10枚分割程度ならば、普通のパソコンでも十分処理可能である。

市販の優秀な画像処理ソフト（photoshop CS6 pro）で合成した絵図を図6、図11に示す。一部、ソフトの処理によるずれ部分は実寸の数倍に拡大して手動で補正しているので、ほぼ満足できる。

2-3 絞り・シャッター速度を一定にして撮影（マニュアル撮影）

分割撮影したデータを合成処理するには、照明を工夫し、画像の明るさ、色合い、解像度等を均一にするなど、すべての分割画像が同じ条件で撮影しなければならない。そのため、撮影前に適切な露出と絞りを決めてマニュアル撮影する必要がある。オート撮影は合成に適さない。

レンズにより、高解像度が最高になる絞り値は異なる。一般に、開放値から3段目やF4.5～F8あたりが一番解像度が高くなっているといわれる。解像度も画面全体が均一で無く、周辺部の解像度は低下し、甘く写る。

また、レンズの絞り値による画像周辺の像の歪み、画像周辺は光量減少値もレンズにより大きく異なるので、その特性を知った上で、図3の周辺をカットする部分を計算にいれなければならない。

一般に、被写体深度（ピントの合う範囲）を考慮し、絞り値をF8に設定、それに応じたシャッター速度を決めるのが無難と思う。照明装置にもよるがシャッター速度が遅くなるので、カメラはしっかり固定する工夫が必要となる。

35mmカメラで使用している愛用のMakro-Planar T 2/50というレンズは、F8でこれらの諸条件で安定した値を示す。（レンズ特性は、使用カメラやレンズメーカー、カメラ雑誌のレンズ評価等をみればよい。）なお、完璧のレンズはありえない。いかに実物に近づけるかが腕の見せ所である。

2-3 カメラと資料の撮影位置を一定に保つ

各画像の重なり部分の大きさを同じに撮影しなければならない。そのためには、資料とレンズの距離が同

じに保つ必要がある。資料によって次の2つ方法をとっている。

① カメラを固定し資料を平行移動させる（図4）

② 資料を固定しカメラを平行移動させる（図5）

一般には、①の方法を使うが、相川高等学校所蔵の佐渡国絵図（図6）は、大きな額に入り壁に固定してあった。

このような場合は、②（図5）の撮影方法を使う。

3 撮影は光の操作次第

撮影は光の操作が最も大切であると思っている。光の性質をよく知ることが、大型資料の分割撮影時には、とても大切なことである。いかに光を操作できるかが、資料撮影のポイントである。私は、カメラの操作以上

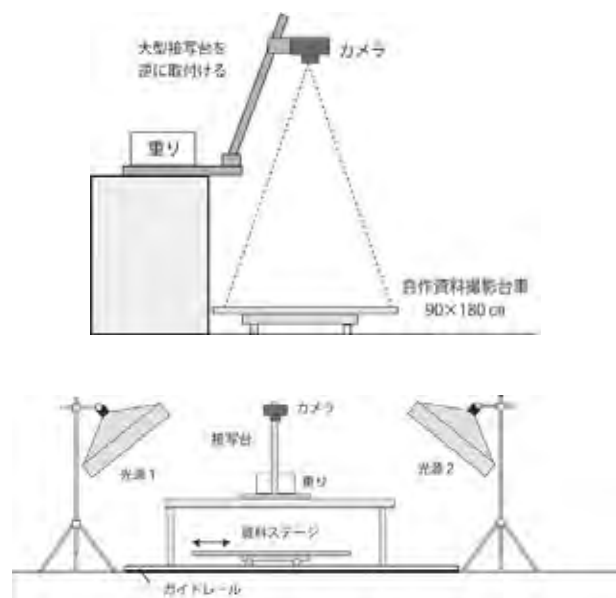


図4 資料移動方式

大きな資料は台車の上に折りたたんでのせる

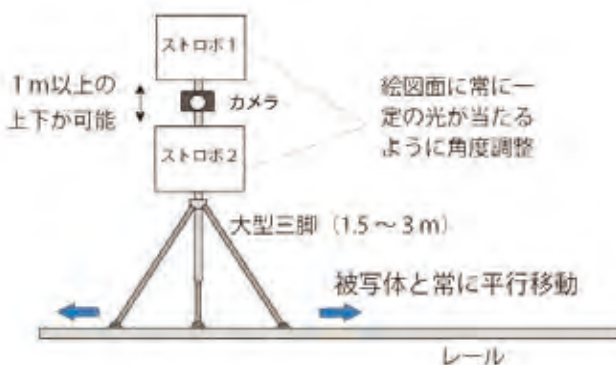
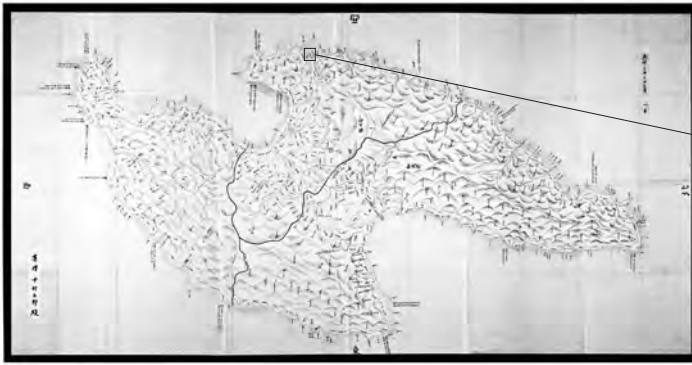


図5 カメラ移動方式

照明装置も同じ光量が資料に当たるように工夫



元禄絵図写し（相川高等学校所蔵）

絵図の大きさ 308cm×155cm

石井夏海・文海写し

※カメラと照明装置を平行移動して撮影

上段7枚、下段7枚、計14枚撮影



実寸のおよそ1/2サイズ

※撮影時のカメラ解像度 1280万画素であるが、すべての文字が読み取れる。（2010年撮影）

図6 14枚分割撮影した絵図と部分画像

に気をつけると同時に、満足のいかない結果の原因は照明の失敗であり、いつも悩んでいるし、工夫することも楽しみの一つである。

3-1 資料全体に均一に光を当てる

露出計などを使い、光が均一に当たっていることを確認する。露出計がない場合は、資料と同サイズの背景紙などを置いて撮影し、色の濃淡をチェックする。

3-2 光源をまぜない

主照明装置と種類の異なる光源（色温度の異なる光）が当たらないように工夫する。蛍光灯でも昼白色と白色では色温度が異なるため、写真上は、色が大きく異なる。この減少は、肉眼で見ても気付かないが、大きく伸ばしてみると左右や上下で、部分的に青味や赤味を帯びることから分かる。左右で色の違いがあると合成作業に影響が出て、不自然な色合いになる。



図7 照明装置

貴重な資料を屋外へ出すのは問題であるが、明るい曇り日の下の撮影が最高によい。室内でこの条件に近づけるには、室内や外の強い光の影響を受けないようにすること。避けられない場合は、より明るく柔らかい光源を使うことを勧めたい。資料は、紫外線を嫌うので、紫外線を出さない光源の有無も調べる必要がある。

ソフトボックスやディフューザー等を使った明るく柔らかくなる光源がインターネットで紹介されているので、参考にするとよい。

また、ストロボや蛍光灯の前にトレシングペーパー等をおいて、光を散乱させて柔らかくする方法があるが、紙を通すと色温度も下がるので、上下・左右同じ条件で光を当てる必要がある。（経験から500°Kくらい下がることある。）

3-3 表面が反射しない照射角度

資料の諸条件によって、紙であっても部分的に反射や極端に明るい部分が出たりする。これを防ぐことと、3-1の均一の光源を照射するために、光源の照射角度が大切である。

図7は、小さな絵図の撮影風景であるが、反射を押さえ、資料面に均一に同じ条件の光を当てている。露出計を使い照明装置の高さや距離を調整し、反射防止のため45°の角度で照射している。光源は蛍光灯（1台32W×6個）を使用し、ソフトボックスに入れ

やわらかく陰ができないようにしている。

大型資料の場合は、写真と同じソフトボックスに入れた大型ストロボを使い、ソフト資料から離して全面に光が均一にあたるようにしている。

なお、ストロボ専用の露出計もあるが、ない場合には、一度試し撮りをして、平均して光があっているかを確認することが大切である。

4 ソフトでの処理方法

画像合成用の色々なソフトがある。基本的にはパノラマ写真を作成するソフトで合成作業が可能である。

しかし、前述したが、写真や絵画などの合成は得意だが（というより、人の目をうまくごまかしているだけ）、細い線が多いものは所々で間違った処理をしてしまうことがある。

ここでは、photoshop cs6 での処理を紹介する。

4-1 画像データの準備

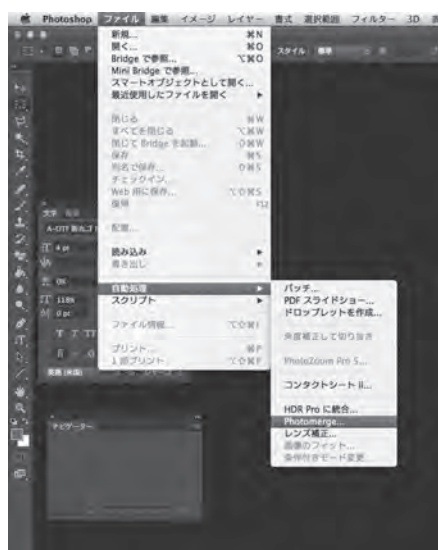


図 8



図 9

分割撮影した画像で画面の歪みの大きな部分を削除する。

4-2 photoshop を起動し、処理する

図 8～図 9

- ① [ファイル] → [自動処理] → [Photomerge]
- ② レイアウト [◎自動設定] を選択
- ③ 合成するファイルを [参照] をクリックして選ぶ
- ④ [画像を合成]、[周辺光量補正] [歪曲収差の補正] にレ点を付ける。
- ⑤ 自動処理を待つ
- ⑥ 画像を拡大して重複部分がうまく合成されているか確認する。

レイヤーの一つを一時的に見えなくすれば、境界部がよく分かる。(図 10)

4-3 合成時の工夫

一度に全画像を処理させるのではなく、隣接する2枚ずつ丁寧に合成していくなど、順序や一度に処理する枚数を色々試行することで、満足のいくものが得られていく。

このような部分を、一つ一つ、レイヤを表示、非表示を繰り返しながら、合成ミスがないかを確認していく。

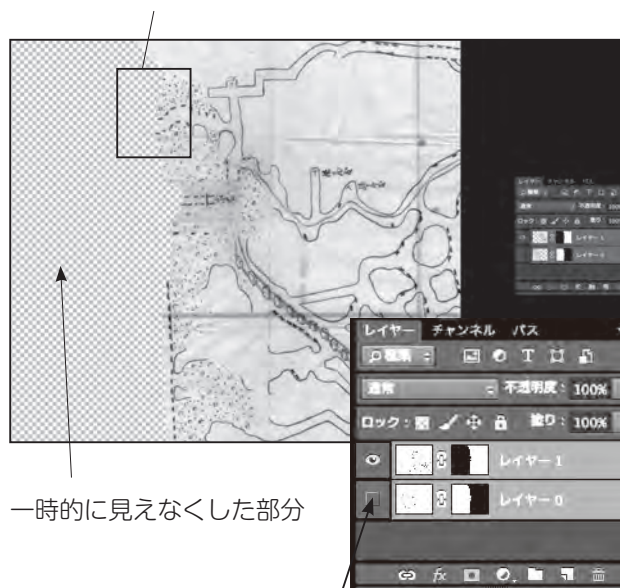


図 10 接合部を確認する

また、photoshop で、2 枚の画像を重ね、以下の処理をすると合成の精度が上がる。

- ① 編集→レイヤーを自動整列
- ② 編集→レイヤーを自動合成

4-4 その他ソフトについて

パノラマ写真作成ソフトは、カメラ購入時についてきたり、フリーソフトもある。少しでも完成度を高めるには、各ソフトの癖を理解した上で、使用する必要がある。いずれにせよ、完璧におまかせできるソフトには、いまだ出会っていない。ここで紹介したphotoshop は、使い方にもよるが特に優秀なソフトと考えている。

5 おわりに

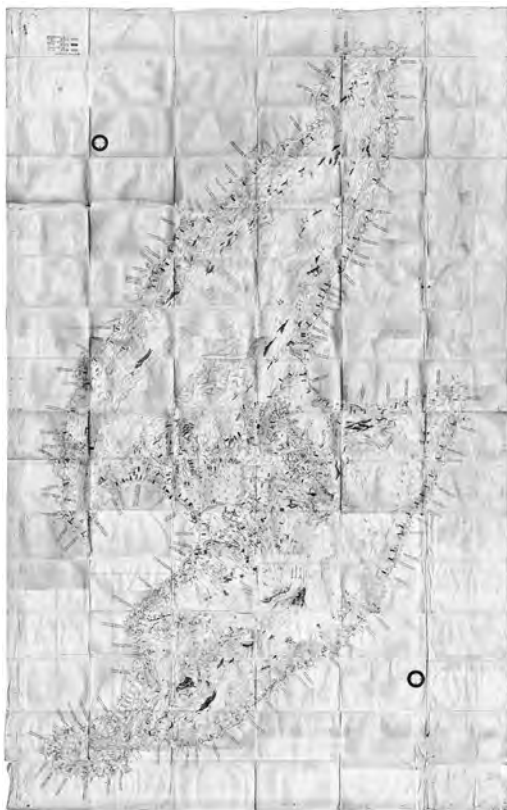
幅2mくらいの資料でも、虫眼鏡を使わずに、画面で拡大して、小さな文字をはっきりと読み取るには、画像合成法を薦める。解像度のよいデジタルデータにしておけば、好きな時や、目的の場所を実物の数倍に拡大して見ることも可能である。

資料が大きくなるほどソフトでの合成がうまくいかない場合が出てくる。その場合、重複部分を増やす、画像の合成順を変える等々…、ちょっと工夫することで、高解像度で色の再現性のよい資料作成が可能となる。ぜひ、合成処理に挑戦してほしい。

枚数の多い合成処理をするには、パソコンの性能も大きく影響し、パソコンの性能の限界から、ハングアップすることもある。私は、パソコンでなく、画像処理能力が極めて高いワークステーションを使用している。(図11は約100分割撮影、PCの性能のおかげで作業ができた。)

ソフトは人が開発したもので、完璧な処理をできないことを、常に頭においてほしい。より、完成度の高い合成作業を行うには、この簡便方では限界がある。私が自慢できる最大傑作は、図11の国絵図であるが、複雑な処理方法を行ったので、ここでは紹介できない。

なお、スキャナーでデジタル化したデータは、周辺部の歪みがないので、重複部を多めにとれば紹介したソフトでほぼ完全に近い合成画像が得られる。



左図の相川の一部（実寸大）

※実寸大印刷で、H 26 年 3 月 31 日まで、両津郷土博物館で展示

※作業原版 1.9 GB (CD 2,700 枚分) 通常のパソコンでは快適に見ることができないほど、大きなデータである。印刷時や画面で調査する場合など、解像度を下げて使用している。

図 11 一番の自信作 相川郷土博物館所蔵「佐渡国絵図」(石井夏海・文海合作 天保 8 (1837) 年完成)
絵図寸法 230 × 370cm (畳約 5 枚分) …過去 2 番目の大作 (1 番大きな絵図は畳約 7 枚分、この資料は、出版物等で発表する場合、許可が必要であり、本「年報」はネット上で電子出版公開するので、紹介できない。)

資料紹介 佐渡市両津・相川博物館収蔵の製造銘のある^{すき}犁

佐渡学センター 本間 裕 亨

はじめに

最近、自然・文化・歴史を主眼とした施策が数多く成されている。佐渡金銀山・ジオパーク・農業資産などの世界認定を目指す動きが活発になってきている。この様な状況の中にあって、農業関連の資料に注目し、佐渡市立博物館に収蔵されている犁について資料紹介をする。

両津郷土博物館に140挺、相川郷土博物館に39挺、金井民俗資料館に八十数挺が収蔵されている。また、赤泊にも十数挺の犁が保存されていたが、統廃合

という名の下に、すべて廃棄されてしまったことは残念でならない。

これらの内、整理が一応終了した両津郷土博物館と相川郷土博物館収蔵の犁について、その概要記すこととした。

収蔵されている犁

整理の終わった犁のうち、ほぼ完型のものを含めると下表のとおりとなる。

表1 両津郷土博物館所蔵資料

資料番号	資料名称	使用地	写真No.	備 考
7051	スキ	吾潟	Ry 03536 Ry 03537	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」焼印。「五郎助」
8972	スキ	吾潟	Ry 03673 Ry 03674 Ry 03675 Ry 03676	「長式精耕号」「福岡市外多々良 / 長式深耕犁 / 長製作所」他焼印
8970	スキ	吾潟	Ry 03669 Ry 03670 Ry 03671	「渡部式佐□号」墨書「八に市」焼印
7048	スキ	吾潟	Ry 03525 Ry 03526 Ry 03527	「□に本間□ / 新穂村大野 / 新栄号 / □□右エ門」焼印「本間式新栄号」印刷
7050	スキ	吾潟	Ry 03519	「忠右門」
7053	スキ	吾潟	Ry 03533	「喜作 3ヶ口」貼紙
7049	スキ	吾潟	Ry 03647	舂のみ
7052	スキ	吾潟	Ry 03662	舂のみ
8971	スキ	吾潟	Ry 03672	舂のみ
8973	スキ	吾潟	Ry 03677 Ry 03678	焼印有不読
7032	スキ	赤玉	Ry 03600 Ry 03601 Ry 03602	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」「㊦」式細耕号一号
7027	スキ	赤玉	Ry 03616 Ry 03617 Ry 03618 Ry 03619	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」「㊦」式細耕号二号
7028	スキ	赤玉	Ry 03624 Ry 03625 Ry 03626	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」「㊦」式細耕号二号
7029	スキ	赤玉	Ry 03627 Ry 03628 Ry 03629	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」「㊦」式細耕号一号
7030	スキ	赤玉	Ry 03630 Ry 03631 Ry 03632	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」「㊦」式細耕号二号
7020	スキ	赤玉	Ry 03641 Ry 03642 Ry 03643	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」「㊦」式細耕号一号
7031	スキ	赤玉	Ry 03608 Ry 03609 Ry 03610 Ry 03611	「渡部式□□」墨書「渡部式 / 佐渡郡 / 吉井村 / 深耕犁」焼印「新潟県奨励機」プレート
7026	スキ	赤玉	Ry 03651	舂のみ
3446	スキ	秋津	Ry 03500 Ry 03501 Ry 03502 Ry 03503	「鋤の仔」舂に英文「㊦ に力」「□に玉崎 / 古甚」焼印

7035	スキ	旭	Ry 03441 Ry 03442	「証標 / 昭和十年度 / 新潟県奨励機 / No.1174」プレート
7033	スキ	岩首	Ry 03620	
7041	スキ	馬首	Ry 03477	
7003	スキ	梅津 (野町)	Ry 03376 Ry 03377 Ry 03378 Ry 03379	佐渡図に「河原田 / 「ㄣ」に子」 / 鍛冶工場」他焼印
7042	スキ	梅津 (馬場)	Ry 03478 Ry 03479	「□佐□□」墨書
7034	スキ	梅津 (馬場)	Ry 03604	
3442	スキ	梅津 (外羽黒)	Ry 03410 Ry 03411 Ry 03412 Ry 03413 Ry 03414	「○にサカ」焼印「ㄱ 子□□製河原田□□□」他
3441	スキ	梅津 (外羽黒)	Ry 03443 Ry 03444 Ry 03445 Ry 03446 Ry 03447 Ry 03448 Ry 03449 Ry 03450 Ry 03451 Ry 03452	佐渡図に「河原田 / 「ㄣ」に子 / 鍛冶工場」「○にカ」焼印 他墨書
3433	スキ	梅津 (馬場)	Ry 03603	
5552	スキ	大川	Ry 03546 Ry 03547	85-26 泉式
7054	スキ	片野尾	Ry 03520 Ry 03521 Ry 03522 Ry 03523 Ry 03524	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」「二号」「㊦式細耕号二号」焼印
7025	スキ	片野尾	Ry 03621 Ry 03622 Ry 03623	「□に新栄号」「本間式」焼印
5553	スキ	潟端	Ry 03517 Ry 03518	「□に□□式 / 深耕□ / 佐渡郡 / 吉井村」焼印
5557	スキ	加茂歌代 (河内)	Ry 03538 Ry 03539 Ry 03540 Ry 03541 Ry 03542	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」「二号」「㊦式細耕号二号」焼印
5554	スキ	加茂歌代 (北河内)	Ry 03543 Ry 03544 Ry 03545	「□に渡部式 / 佐渡□ / 吉井□ / □□□」焼印「証標 / 新潟県奨励機 / No.28・・・」プレート
3415	スキ	加茂歌代 (向高野)	Ry 03364	
7056	スキ	加茂歌代 (向高野)	Ry 03534	
7055	スキ	加茂歌代 (向高野)	Ry 03535	
3445	スキ	加茂歌代 (上野)	Ry 03506 Ry 03507 Ry 03508 Ry 03509 Ry 03510	「本間式 新栄号」「□に本間製」「□に新栄号」「吉」焼印
3444	スキ	加茂歌代 (上野)	Ry 03494	
3387	スキ	加茂歌代 (新町)	Ry 03432 Ry 03433 RY 03434	「□に浦山製」「八に文」焼印
3406	スキ	加茂歌代 (新町)	Ry 03389 Ry 03390 Ry 03391 Ry 03392	「○にサ」「八に久」焼印「渡部式佐□□」墨書
3393	スキ	加茂歌代 (新町)	Ry 03372	
3383	スキ	加茂歌代 (南河内)	Ry 03552	
7047	スキ	久知河内	Ry 03511 Ry 03512 Ry 03513	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」「一号」焼印
7021	スキ	久知河内	Ry 03648 Ry 03649	「□□ / □□ / 佐渡郡 / □□村」焼印。ㄱのみ
5556	スキ	久知河内	Ry 03660 Ry 03661	「□に本間製」焼印。ㄱのみ
5555	スキ	久知河内	Ry 03646	

7010	スキ	黒姫	Ry 03385 Ry 03386 Ry 03387 Ry 03388	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」「㊦式細耕号八号」焼印
7019	スキ	下久知	Ry 03644 Ry 03645	青ペン塗り「㊦に吉」焼印
7024	スキ	下久知	Ry 03650	㊦のみ
7023	スキ	下久知	Ry 03658 Ry 03659	㊦のみ「〇に助」焼印
7057	スキ	白瀬	Ry 03514 Ry 03515 Ry 03516	「22.9.19」刻書「〇に傳」焼印
7016	スキ	住吉	Ry 03460	
7043	スキ	立間	Ry 03483 Ry 03484	「□に本間製」「八に善」焼印
7044	スキ	立間	Ry 03485	
8975	スキ(双用)	立野	Ry 03682 Ry 03683 Ry 03684 Ry 03685 Ry 03686 Ry 03687	「高北式双用犁二号」他
8976	スキ(双用)	立野	Ry 03688 Ry 03689 Ry 03690 Ry 03691 Ry 03692 Ry 03693 Ry 03694 Ry 03695	「高北式二段耕犁」「高北式 鉄柱 土の母 単用犁2号」「三重県名張市 / 株式会社高北農機製作所」「特許〇に高北謹製」他焼印
7004	スキ	玉崎	Ry 03381 Ry 03382 Ry 03383 Ry 03384	「〇に八」式精農号墨書。「〇に宗」焼印
7036	スキ	玉崎	Ry 03486 Ry 03487	「八に宗」焼印
8974	スキ(双用)	月布施	Ry 03679 Ry 03680 Ry 03681	「松山式双用犁(ハケンE型)」他
7037	スキ	月布施	Ry 03696	
7008	スキ	椿	Ry 03406 Ry 03407	「土谷式双用スキ」プリント
7009	スキ	椿	Ry 03408 Ry 03409	「土谷式双用スキ」プリント
7038	スキ	椿	Ry 03469 Ry 03470 Ry 03471	「□に本間製」「□に新栄号」焼印
7039	スキ	椿	Ry 03481 Ry 03482	「□に高橋」焼印
7005	スキ	長江	Ry 03374 Ry 03375	「□に□田式 / 深耕犁 / 旭号」焼印
7017	スキ	野浦	Ry 03462 Ry 03463 Ry 03464	「〇に八」式精農号
7014	スキ	野浦	Ry 03593 Ry 03594	「泉式」焼印
7022	スキ	東強清水	Ry 03633 Ry 03634 Ry 03635	「井端式深耕犁精鋭号」「□□式 / □□□上町 / 深耕犁 / 井端□□製作所」
7006	スキ	真木	Ry 03367 Ry 03368	「□に川間口」焼印
7007	スキ	真木	Ry 03369 Ry 03370	「〇に治」焼印
7011	スキ	真木	Ry 03430 Ry 03431	「新潟県□□□改良□□柳島謹□」焼印
7040	スキ	虫崎	Ry 03467 Ry 03468	「佐渡図に細耕号 / 「㊦ / 金助工場」焼印
3440	スキ	旭	Ry 03400	
3439	スキ	旭	Ry 03465	
3438	スキ	旭	Ry 03480	
3432	スキ	旭	Ry 03493	
3381	スキ	羽吉(駒坂)	Ry 03371	
3389	スキ	羽二生	Ry 03459	
3419	スキ	下久知	Ry 03491 Ry 03492	「渡部□佐□」墨書
3392	スキ	下久知	Ry 03435	
3431	スキ	河崎	Ry 03572 Ry 03573 Ry 03574	「〇に八上猪股」焼印

3398	スキ	潟端	Ry 03559 Ry 03560 Ry 03561	「渡部式佐□号」墨書「不読」焼印
3434	スキ	潟端	Ry 03591 Ry 03592	「渡部式□□号」墨書
3420	スキ	月布施	Ry 03380	注記不読
3394	スキ	月布施	Ry 03398 Ry 03399	「吉」焼印
3424	スキ	吾潟	Ry 03548 Ry 03549 Ry 03550 Ry 03551	「貫木式おけさ号」「八に七」「おけさ□耕犁 / 青木製作所 / 佐渡新穂北方」焼印
3428	スキ	吾潟	Ry 03605 Ry 03606 Ry 03607	「おけさ□□□□ / 青木製作所 / 佐渡新穂北方」「〇に野口」焼印
3422	スキ	吾潟	Ry 03666 Ry 03667	「渡部式」「佐□□」
3427	スキ	吾潟	Ry 03555 Ry 03556 Ry 03557 Ry 03558	焼印有不読
3377	スキ	黒姫	Ry 03567 Ry 03568 Ry 03569	佐渡図に「河原田 / □□□」「□にサド / □□□」焼印
3418	スキ	秋津	Ry 03472 Ry 03473 Ry 03474 Ry 03475 Ry 03476	「TREADE 高 北 MARK/・・・SHORYOKU SHINKO・・・EISAKU.HATSUBAIMOTO/・・・ABARICHO MIEKEN JAPAN/・・・AKITA NOGU SEISAKU」「特号」「高北謹製」他焼印
3417	スキ	秋津	Ry 03553 Ry 03554	焼印有不読
3413	スキ	住吉	Ry 03393 Ry 03394 Ry 03395 Ry 03396 Ry 03397	佐渡図に「ニイボ / ㊦ / 金助工場」「㊦式細耕号三号」焼印
3412	スキ	住吉	Ry 03563 Ry 03564 Ry 03565	「本間式新栄号」焼印
3386	スキ	上横山	Ry 03570	
3391	スキ	上横山	Ry 03599	
3384	スキ	上横山	Ry 03663	
3414	スキ	水津	Ry 03585 Ry 03586 Ry 03587	「泉式」「楯門に坂越屋」焼印
3437	スキ	水津	Ry 03595 Ry 03596	「泉式」焼印
3436	スキ	水津	Ry 03373	
3403	スキ	長江	Ry 03436	
3388	スキ	長江	Ry 03437	
3435	スキ	長江	Ry 03575	
3443	スキ	椎泊	Ry 03597	
3379	スキ	椿	Ry 03588 Ry 03589 Ry 03590	「牛馬双用」「□に新潟県□□郡 / 来迎寺村□□ / 若井□□□□」焼印
3376	スキ	椿	Ry 03425 Ry 03426 Ry 03427 Ry 03428 Ry 03429	「長式深□ 長式農□」「長式精耕号」「八に甚」焼印
3416	スキ	椿	Ry 03461	
3421	スキ	椿	Ry 03488 Ry 03489 Ry 03490	「鋤のイスト」「楯門に SADO・・・・/SHINKO・・ KOK・HU・・/YO・OS・」焼印
3404	スキ	椿	Ry 03654 Ry 03655 Ry 03656 Ry 03657	対のみ「八に久」他焼印
3378	スキ	東強清水	Ry 03422 Ry 03423 Ry 03424	「渡部式深耕□佐渡郡吉井村」焼印他
3380	スキ	東立島	Ry 03416 Ry 03417 Ry 03418 Ry 03419	「□に関川式深耕犁他」焼印「佐和田町窪田関川農機製作所」
3382	スキ	東立島	Ry 03664 Ry 03665	焼印有不読
3409	スキ	馬首	Ry 03612 Ry 03613 Ry 03614 Ry 03615	「長式精耕号」「福岡市外多々良 / 長式深耕犁 / □□□」他焼印

3408	スキ	馬首	Ry 03598	
3410	スキ	馬首	Ry 03652 Ry 03653	昃のみ「八に一」焼印
3407	スキ	馬首	Ry 03668	
3425	スキ	浜梅津	Ry 03365	
3426	スキ	浜梅津	Ry 03366	
3385	スキ	豊岡	Ry 03420	
3397	スキ	豊岡	Ry 03440	
3399	スキ	豊岡	Ry 03566	
3402	スキ	豊岡	Ry 03571	
3375	スキ	立間	Ry 03562	
7015	スキ	立野	Ry 03454 Ry 03455 Ry 03456	「○に豊国号」「□に越後□□/□□□」焼印
3411	スキ	立野	Ry 03528 Ry 03529 Ry 03530 Ry 03531 Ry 03532	佐渡図に「ニイボ/㊦/金助工場」「㊦式細耕号一号」焼印
3395	スキ	立野	Ry 03583 Ry 03584	「□に浦山製」焼印
3396	スキ	立野	Ry 03401 Ry 03402 Ry 03403 Ry 03404 Ry 03405	「TREADE 高 北 MARK/・・・SHORYOKU SHINKO・・・EISAKU.HATSUBAIMOTO/・・・ABARICHO MIEKEN JAPAN/・・・AKITA NOGU SEISAKU」「□案□□/45512/51954/69705/70152」「特号」「高北謹製」焼印
7013	スキ	立野	Ry 03438 Ry 03439	「渡部式深耕犁佐渡郡吉井村」焼印
7012	スキ	立野	Ry 03415	
3429	スキ	立野	Ry 03421	
3401	スキ	立野	Ry 03453	
3390	スキ	立野	Ry 03457 Ry 03458	「証標/昭和十年度/新潟県奨励機/No.1175」プレート
3430	スキ	立野	Ry 03466	
3400	スキ	立野	Ry 03499	
3405	スキ	匏	Ry 03636 Ry 03637 Ry 03638 Ry 03639 Ry 03640	「日の本号深耕犁」「新案特許」「上熊本駅前/東洋社」「六号」焼印「特に御注意」プレート
7045	スキ		Ry 03495 Ry 03496 Ry 03497 Ry 03498	「佐々木式□□号」「○に松」焼印
3423	スキ		Ry 03576 Ry 03577	「□におけさ□□□/青木製作所/佐渡□□□□」プリント
7018	スキ		Ry 03578 Ry 03579 Ry 03580 Ry 03581 Ry 03582	「長式精耕号」「八に五」「福岡市外多々良/長式深耕犁/長□□□」他焼印
7046	スキ		Ry 03504 Ry 03505	「門テ」焼印

表2 相川郷土博物館所蔵資料

資料番号	資料名称	使用地	写真No	備 考
3076	スキ	石名	Ki 06576	「□部式 大田用」。焼印？
6972	スキ	石花	Ki 06601 Ki 06602 Ki 06603	「関川式 深耕犁 譽號」印字。焼印「(佐渡ヶ島の中に佐和田町 関川式)」「新潟県佐渡郡二宮関川式 深耕犁□□□農具」銘板「佐和田町窪田 関川農機製作所」
6970	スキ	石花	Ki 06585 Ki 06586	「長式精耕號」「○に(□□□金□農具共進會)」「□□□□」「長」「□に(富岡市 長式深耕犁 長式農具)」焼印
6971	スキ	石花	Ki 06615 Ki 06616	「長□福岡縣 柏屋郡多々 深耕犁 長□」焼印。他焼印跡有
7179	スキ	入川	Ki 01425 Ki 01426 Ki 01427 Ki 01428	「○に畠」「長」「□岡市外多々良 長式深耕犁 長式農具」「□ 大」「□□號」「(読めず)」焼印
905	スキ	大浦	Ki 06587	焼印「㊦式 細耕號 一號」「(佐渡ヶ島の中にニイボ)㊦金助工場」「一號」
856	スキ	小川	Ki 06577	「㊦式 細耕號 一號」「(佐渡ヶ島の中にニイボ)㊦金助□工場」「一號」焼印
496	スキ	小川	Ki 06580 Ki 06581 Ki 06582	「新潟県佐渡郡二宮 関川式深耕犁 関川式農具」「□に寺岬」焼印
4416	スキ	小川	Ki 01429 Ki 01430	墨書「渡部式 佐州號」
4415	スキ	小川	Ki 01410	

未記載	スキ	小田	Ki 06608 Ki 06609	「□に (本間製)」 「新栄号」 焼印
3462	スキ	鹿伏	Ki 01411 Ki 01412 Ki 01413	「八に夕」 「□□□ 関川式深耕□ 関川□□」 焼印
3461	スキ	鹿伏	Ki 01414 Ki 01415	「関川式 深耕犁 譽號」 「佐和田町 関川式」 印字
5427	スキ	北片辺	Ki 06591 Ki 06592 Ki 06593	「井端式 深耕犁 精鋭號」 「井端式 佐渡□□上町 深耕犁 井端農具製作所」 印字。 焼印 「ㄣに中」
5426	スキ	北片辺	Ki 06611 Ki 06612 Ki 06613	「長式 精鋭號」 「○に (農林省後援 金牌 農具共進會)」 「新案特許」 「□に (福岡市外多々良長式 深耕犁 長式農具) 「ㄣに中」 焼印
未記載	スキ	北片辺	Ki 06578 Ki 06579	焼印有
未記載	スキ	高下	Ki 06610	印字「井端式 精鋭號」
未記載	スキ	高下	Ki 06588 Ki 06589	焼印「□に (内田式 深耕犁 九号)」
5885	スキ	達者	Ki 06600	焼印「㊦式 細耕號 蜂號」 「(佐渡ヶ島の中にニイボ) ㊦金助工場」 「八號」
4410	スキ	達者	Ki 06590	印字「井端式 精鋭号」 「□に (井端式 左□□□上町 深耕犁 井端農具製作所)」
F3341	スキ (秋田打)	達者	Ki 06594 Ki 06595 Ki 06596 Ki 06597	印字「関川式 深耕犁 譽號」 「焼印「□に (□□縣 佐渡郡□宮 関川式深耕犁 関川式農具)」 銘板「佐渡郡佐和田町窪田 関川式深耕犁 農機具製作所」 「佐和田町窪田 関川農機具製作所」
F498	スキ	達者	Ki 06604 Ki 06605 Ki 06606 Ki 06607	「佐和田町窪田 関川農機製作所」 「佐渡郡佐和田町窪田 関川式深耕犁 農機具製作所」 銘板
F3342	スキ (春田打)	達者	Ki 06598 Ki 06599	焼印「□に (渡部式 深耕犁 佐渡郡吉井□)」
3494	スキ	矢柄	Ki 06614	
6563	スキ	八幡	Ki 06617 Ki 06618	焼印「□に (福岡県外多々良長式 深耕犁 長式農具)」 「○に (農林省後援 金牌 農具共進會) 「新案特許」 「長式 精耕號」
未記載	スキ		Ki 01416 Ki 01417	焼印「㊦式 細耕號 二號」 「ニイボ㊦金助□場」
未記載	スキ		Ki 01422 Ki 01423 Ki 01424	焼印「三號」 「㊦式細耕號 三號」 「ニイボ㊦金助工場」
未記載	スキ		Ki 06619	焼印「二號」 「(佐渡ヶ島の中にニイボ) ㊦金助工場」
未記載	スキ		Ki 06637 Ki 06638 Ki 06639	墨書「□田□ □□□□□□」 焼印「佐渡ヶ島の中に (藤田式 (ㄣに子) 優良農機)」 「サド (ㄣに子) 佐和田町河諏訪町 藤田製」
未記載	スキ		Ki 06621 Ki 06622	印字「菊住式 大鳥犁」 焼印「○に三号」 「熊本市琴平町菊住農具製作所」
未記載	スキ		Ki 06625 Ki 06626 Ki 06627 Ki 06628 Ki 06629 Ki 06630 Ki 06631	焼印「TAKAKITA □ TER CO ～」 「印字痕 (高北式 双用犁)」 「高北犁」 「登録□□ □富號」 「双用犁」 「專賣特許 (○に高北) □□」 「□□□□ □□高北農具」
未記載	スキ		Ki 01418 Ki 01419 Ki 01420 Ki 01421	焼印「農林省後援 農具共進會 金牌受領」 「□岡市外□々良 長式深耕犁 長製作所」 「長式 精耕號」 「#にト」
未記載	スキ		Ki 06583 Ki 06584	焼印「長式 精耕號」 「(農林省後援 金牌 農具共進會)」 「新案特許」 「長」 「□に (□岡市外多々良 長式深耕犁 長式農具)」
未記載	スキ		Ki 06623 Ki 06624	焼印「長式 精耕號」 「○に (農林□□□ 金□ 農具共進會)」 「新案特許」 「長」 他焼印痕有
未記載	スキ		Ki 06632 Ki 06633	印字「本間式 新栄号 大□ 新案□□ □□□□□□」
未記載	スキ		Ki 06620	先端黒のカバー
未記載	スキ		Ki 06634	
未記載	スキ		Ki 06635 Ki 06636	焼印「□□□□□市琴平町 □□□□□□本店」

佐渡の牛馬耕のはじまり

『佐渡郡牛馬耕発達誌』(S26・9・25 北見順蔵・石井治著作 金澤村農業協同組合刊)によれば、佐渡郡において牛馬耕が創始されたのは明治23年(1890)長沼幸七により福岡県から持立犁を移入して伝えられたという。この頃は犁も不完全であり牛耕には適さず全て馬耕であったが、明治40年(1907)秋の競犁会に始めて牛が用いられ、次第に牛耕が普及したという。

銘のある犁

整理済みの犁のうち銘のあると思われるものは117挺ある。

その中で島外で製造されたものに「長式」深耕犁がある。これは福岡県長末吉により考案された犁で、島内では昭和6年(1931)頃から窪田若林仲蔵が取次販売をしている。その後、深見式の二段犁や磯野犁・菊住式などが移入され、昭和25年(1950)には高北二段犁が移入された。これらのほとんどが九州地方からのものである。

島内の製造銘をみると、「④式細耕号」・「井端式深耕

犁」・「関川式深耕犁」・「渡部式深耕犁」・「本間式新栄号」などが見られる。また、島内の犁具制作者については、前記『佐渡郡牛馬耕発達誌』に概略が記されている。

結 語

博物館において、収集資料の整理業務に携わることになって、市内の博物館・資料館の収蔵資料の分類・整理をする中で、島内において製造されていた犁の存在を知り、これが収蔵庫に山積みされていることを目の当たりにしたとき、博物館の稚拙な思考と研究心のなさを痛感すると共に、この様に大量に収蔵されている研究材料がこのまま死蔵されていることに悲しい思いと、憤りも憶えた。博物館資料は同一資料を一点収集すれば良いと言うものではなく、多くの資料によってこそ研究の成果を生む事ができるものであると考える。

この紹介が、これからの詳細な調査研究のあくまでも基礎資料の一部として、今後の研究の一助となれば幸甚である。



長式深耕犁 Ry03673



菊住式 Ki06621



④式細耕号 Ry03600



高北二段犁 Ry03401



井端式深耕犁 Ry03633



関川式深耕犁 Ki06594



渡部式佐州号 Ry03591



本間式新栄号 Ry03506



河原田金子(㌒に子)鍛冶工場製 Ry03376



青木式おけさ号 Ry03548

編集後記

佐渡学センター年報第5号を無事発刊できますことに、関係者のみなさまに感謝申し上げます。

平成25年11月末に、(財)佐渡博物館が解散し、佐渡市が引き継ぐことになりました。(財)佐渡博物館では、最後の特別展「56年間ありがとう 佐渡博物館さよなら特別展」を平成25年10月19日から11月24日まで開催しました。佐渡学センターも共催で手伝いをしたのち、12～3月の間、引き継ぎ業務、平成26年4月1日佐渡市立佐渡博物館としての開館準備に専念しました。すばらしい所蔵品や資料や文献に改めて伝統ある博物館であることを認識させられました。限られた人員で佐渡市内の博物館および資料館の全管理等の佐渡学センターとしての通常業務に加え、新たに市立佐渡博物館として再スタートさせるための業務が加わり、多忙な年度末となりました。

また、新潟大学人文学部の行事とも重なり、これまで毎年行われてきたシンポジウムや佐渡学セミナーを、本年度は休ませていただきました。

次年度は、佐渡市立佐渡博物館を佐渡学の中核施設として、これまでの佐渡博物館の伝統と格式を引き継ぎ、佐渡学をさらに深化させる年としないといけないと決意を新たにしました。

(池田雄彦)

佐渡学センター年報 第5号 (平成25年度版)

- 発行日 平成26年3月31日
- 編集・発行 佐渡学センター
〒952-0021
新潟県佐渡市秋津1596 両津郷土博物館内
TEL 0259-23-2100
- 電子出版 佐渡学センター

<http://www.sadocity.niiigata.jp/sadobunka/denbun/>

- 非売品
-